

東京医科大学医学部看護学科

2023 年度卒業生アンケート

結果報告書



東京医科大学教育 IR センター

東京医科大学 看護同窓会

巻頭言

2023 年度卒業生アンケートに寄せて



東京医科大学 学長 林 由起子

この度、教育 IR センターを中心に実施・集計いたしました 2023 年度卒業生アンケートの結果をまとめ、皆様のお手元にお届けできることとなりました。卒業生アンケートは毎年、卒業後一定の年数を経た方にご協力をお願いし、毎年継続して実施しております。今年も多くの卒業生の皆様にご協力いただき、貴重な、かつ具体的なご意見を多々頂戴することができ、大変充実したものとなりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本学の医学・看護学の教育は、日々進歩を遂げる学問や技術のみならず、急速に変化する多様な社会のニーズに対応できる学生を育成すべく、毎年、内部質保証の基本方針に基づいて、教育研究の質の向上に向けた取り組みを続けております。

この卒業生アンケートは、本学の学生教育の具体的な検証にとどまらず、頂戴した貴重なご意見を参考に、より良い教育を目指していく指標ともなります。また、同窓生の皆様のご活躍を通じて、「患者と共に歩む医療人を育てる」という本学のミッションの達成度も推し測ることが可能となります。

1つ1つのデータが多くのことを示唆しております。ぜひ、じっくりとご覧いただき、ご意見、ご感想をお寄せいただけますと幸いです。また、今後とも本学の教育活動を見守っていただき、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2023 年度 看護学科卒業生アンケートに寄せて



東京医科大学医学部 看護学科長 阿部幸恵

看護学科は、2017年3月から2024年3月までに、総勢717名の卒業生を輩出してきました。初期の卒業生たちは、中堅として、看護の場を支え、新たな看護の道を切り拓く貴重な役割を果たしていることでしょう。看護学科は、建学の精神である「自主自学」そして校是の「正義・友愛・奉仕」に基づいて、学生たちが、将来、グローバルな視点から社会のニーズを迅速かつ的確にとらえ、あらゆる場面で状況に応じたヒューマンケアが提供できる看護職者の育成を目指して、卒業生たちを育ててきました。教育の真の成果は、卒業生たちの活躍の中にあります。毎年行う卒業生アンケートは、我々の教育への通信簿であると感じています。良いところはさらに良い教育となるようにカリキュラムや学習環境を整えていきます。また、課題については、真摯に受け止めて、改善に向けていきます。看護学科は、2021年度から新しいカリキュラムを導入していますが、新たなカリキュラムを検討する際には、卒業生たちのアンケートを参考にし、科目の配置や内容を決めていきました。新たなカリキュラムで学んだ学生は、現在4年生です。彼らの卒業後のアンケートでは、これまで以上にカリキュラムへの満足度が高まることを期待しています。また、現在、東京医科大学では、キャンパス整備の計画が進められていますが、その計画にも卒業生たちのご意見を反映していけるように検討しています。

看護学科では、毎年、卒業した年の夏に卒業生が、大学に集まり交流を深める「ホームカミングデー」を設けていますが、これまで看護学科を卒業した全員を対象に、交流する機会を新たに設けて、卒業生たちの活躍を直接うかがいたいと思っています。中には、母校で教育に携わりたいという希望を持つ方もいるのではないかと期待しています。卒業生の皆様が、様々な場で活躍し、公私ともに幸せでいてくださることを教職員一同、いつも願っています。最後に、本卒業生アンケートには、多くの卒業生に協力して頂きました。この場を借りて、御礼申し上げます。また、アンケートの収集から分析までを担っていただきました教育IRセンターの皆様にも感謝申し上げます。卒業生アンケートは、毎年継続していきます。卒業生アンケートが大学の改善にとって、貴重な資料となることにご理解いただき、今後も、ご協力頂けますよう、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

看護学科の卒業生アンケートに寄せて



東京医科大学看護同窓会会長 石塚 睦子

2023年5月8日から2類相当であった新型コロナウイルス感染症が5類に変わりました。人の流れも復活を見せ、賑わいが戻ってきましたが、また、第11波が猛威を振るって来ましたので、皆様、今後も感染予防に気を付けてお過ごし頂きたいと思います。

さてこの度、2017年3月～2023年3月までの卒業生のアンケート結果が手元に届きました。今回アンケートに答えられた卒業生の皆様は、正にコロナの影響を多大に受けた学年であり、学校だけでなく日常の三密制限、式典参列者の制限、大学祭や謝恩会など青春の楽しい思い出を経験できない悲しさ、淋しさもあったことと思います。また、授業においては、Zoomなど新たな教授手段に慣れていく必要があり、その準備に奮闘された教職員の皆様の苦勞もいかばかりであったかとお察しいたします。そのような苦勞によって新たな学びが出来たとはいえ、大変な数年間であったことを心から労りたいと思います。

しかしながら、アンケート結果を見ますと、良かったと思う点が沢山記載されており、東京医科大学のカリキュラム・教育に満足しているという声が、何と85%を超えておりました。安心して嬉しく思いました。日本全国を見渡せば、コロナ禍で実習できない学生が多くいた時期に、東京医科大学の学生さんたちは実習ができていたのですから、素晴らしい知識・技術・態度が身につけて卒業できたのではないのでしょうか。

全体的には学生さんの評価は高評価と見受けましたが、多様性のある人を対象に多様性のある人が行う教育は、全員から高評価を得る難しさがあると思います。改善点の意見もありましたので、様々な意見を東京医科大学の今後の糧として、今後も学生の皆さんのより良い成長を促せるような質の高い東京医科大学の教育活動が、維持・発展していきますように祈っております。

最後に東京医科大学看護同窓会としても、微力ではありますが、これからも母校の発展を見守り、支援していきたいと思っております。

看護学科

目次

1. はじめに.....	5
2. 調査基本情報.....	5
2.1 調査概要.....	5
2.2 調査項目（資料を参照）.....	6
3. 調査結果.....	7
Q1. 卒業年.....	7
Q2. 性別.....	7
Q3. 卒業直後の進路.....	8
卒業直後に就職した人の	
Q4. 就職先.....	9
Q5. 職種.....	10
Q6. 雇用形態.....	10
Q7. 勤務の継続.....	11
Q8-1. 勤続年数.....	11
Q8-2. 退職理由.....	11
卒業直後に進学・そのほかの人の	
Q9. 現在の状況.....	12
Q10. 職種.....	13
Q11. 雇用形態.....	13
Q12. 勤続年数.....	14
Q13. 卒業後の意識の変化.....	15
Q14. 卒業後のボランティアや社会貢献活動への参加（自由記載）.....	15
Q15. 資格取得.....	16
Q16. 教育到達目標の達成度.....	16
Q17. カリキュラムの満足度.....	19
Q18. カリキュラムへの意見（自由記載）.....	23
Q19. 在学中にもっと学びたかった項目.....	24
Q20. 母校の良かった点.....	26
Q21. 母校の改善すべき点.....	30
Q22. 母校の総合的評価.....	34
Q23. 意見や要望.....	36
4. まとめ.....	37
<資料>	
1. 卒業生アンケート質問票.....	40
5. おわりに.....	46

1. はじめに

東京医科大学医学部看護学科は 2013 年に開設され、2022 年現在 10 年目を迎えている。2016 年度に初めて卒業生が誕生し、2022 年度末で 624 名が卒業した。

2013 年の薬学分野を皮切りに、日本でも高等教育における質保証を行う目的から医療系の専門分野における分野別評価が開始されている。分野別評価とは、その分野の教育活動について自己点検評価した内容が評価基準に適合しているかを問われるものである。看護学分野も、薬学（2013 年評価事業開始）、医学（2017 年評価事業開始）に次いで、2020 年に日本看護学教育評価機構（Japan Accreditation Board for Nursing Education ; JABNE）により、分野別評価を開始しており、2021 年度に東京医科大学医学部看護学科も受審をして、「適合」を得た。JABNE による評価項目には、「評価項目 3-3 雇用者・卒業生からの評価と改善」として「16. 卒業生に教育プログラムに対する満足度調査、卒業後の動向調査をしている」という内容が含まれており、卒業生からの評価は、自己点検のための重要な指標とされている。

以上を踏まえ本調査は、これまで東京医科大学医学部看護学科を卒業した卒業生を対象に、キャリアの実態・動向を把握すると共に、在学時のカリキュラムや学校環境等を卒業生の視点から評価することによって、今後の看護学科のカリキュラムや教育プログラムの改善に向けた基礎資料（エビデンス）を得ることを目的に行った。

2. 調査基本情報

2.1 調査概要

- ① 調査期間：2024 年 2 月 1 日～3 月 31 日
- ② 調査対象：2017 年 3 月卒から 2023 年 3 月卒までの卒業生
- ③ 調査方法：調査は、教育 IR センターにて調査用紙を作成し、web 上のアンケートシステム（今回は WEB CAS™）を使用した。調査依頼の郵送先名簿は、東京医科大学看護同窓会（以下、同窓会）より入手した。また、前回のアンケートにメールアドレスの記載のあった卒業生、総合事務センターにメールアドレスを報告した卒業生にはメールでも依頼を行った。回答は Web 回答であった。
- ④ 回収状況：
発送数：576 回答数：230
回答率：43.2%（未達 44 を除外して算出）
2017 年 3 月卒から 2023 年 3 月卒までの卒業生 624 名のうち、同窓会で住所を把握している 576 名に調査依頼を送付した。そのうちのメールアドレスを把握している 336 名の卒業生にはメールでも調査依頼を送付し、全体で 230 名から回答を得た。回収率は 43.2% だった。

表1 卒業年別卒業生数、回答数、回答率

卒業年	卒業生数	送付者数	未達者数	回答数	回答率 (%)
2017年	80	67	7	25	41.7
2018年	100	87	9	30	38.5
2019年	92	80	4	27	36.5
2020年	94	86	10	37	48.7
2021年	87	85	13	23	31.9
2022年	88	88	1	38	43.7
2023年	85	83	0	50	60.2
合計	626	576	44	230	43.2

表2 性別による卒業生数、回答数

	卒業生数	回答数	回答なし
女性	607	225	2
男性	19	3	

2.2 調査項目（巻末の調査用紙を参照）

属性に関する質問

Q1. 卒業年、Q2. 性別

卒業後のキャリアに関する質問

Q3. 卒業直後の進路、卒業直後に就職した人の Q4. 就職先、Q5. 職種、Q6. 雇用形態、Q7. 勤務の継続、Q8-1. 勤続年数、Q8-2. 退職理由、卒業直後に進学・その他の人の Q9. 現在の状況、Q10. 職種、Q11. 雇用形態、Q12. 勤続年数

卒業後の意識や行動の変化に関する質問

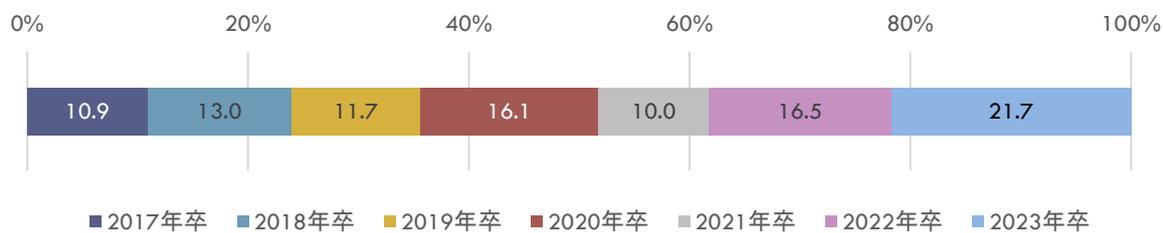
Q13. 卒業後の意識の変化、Q14. 卒業後のボランティアや社会貢献活動への参加、Q15. 資格取得

東京医科大学の教育についての質問

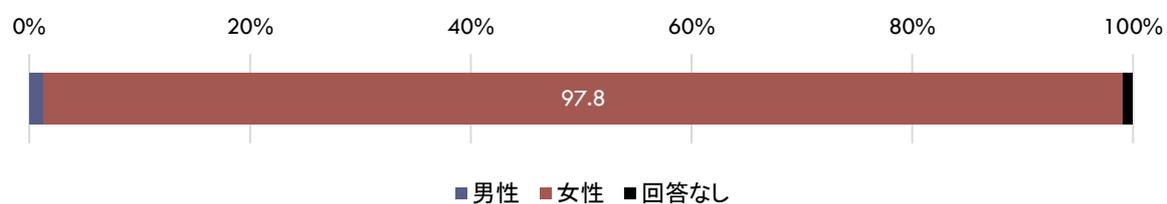
Q16. 現行の教育到達目標の評価、Q17. カリキュラムの満足度、Q18. カリキュラムへの意見（自由記載）、Q19. 学生時代にもっと学びたかった項目、Q20. 母校の良かった点、Q21. 母校の改善すべき点、Q22. 母校の総合的評価、Q23. 意見や要望（自由記載）

3. 調査結果

Q1. あなたの卒業年を教えてください。



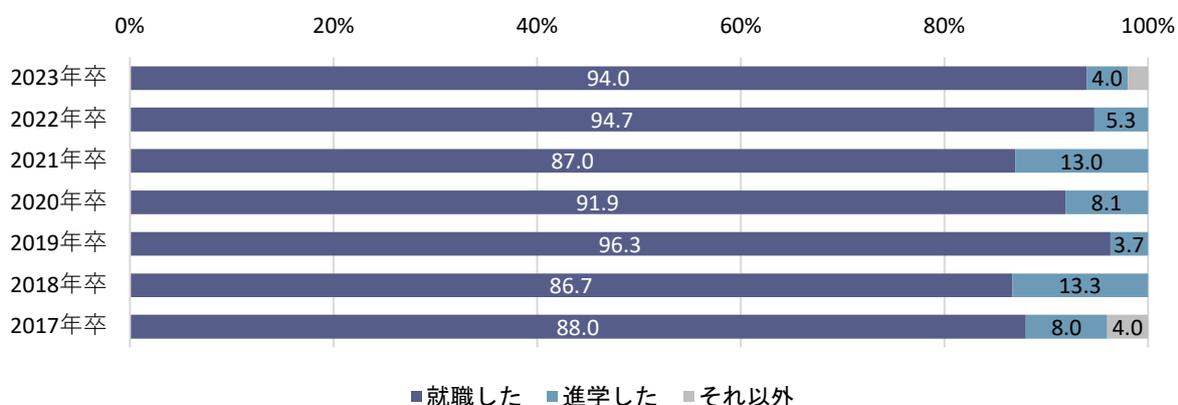
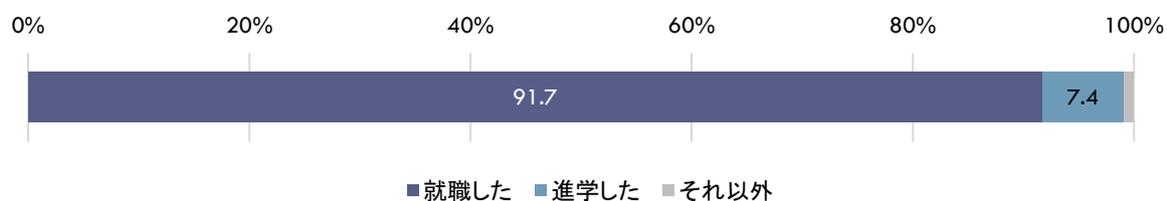
Q2. 性別を教えてください。



卒業後のキャリアについてお伺いします

Q3. 卒業直後の進路を教えてください。

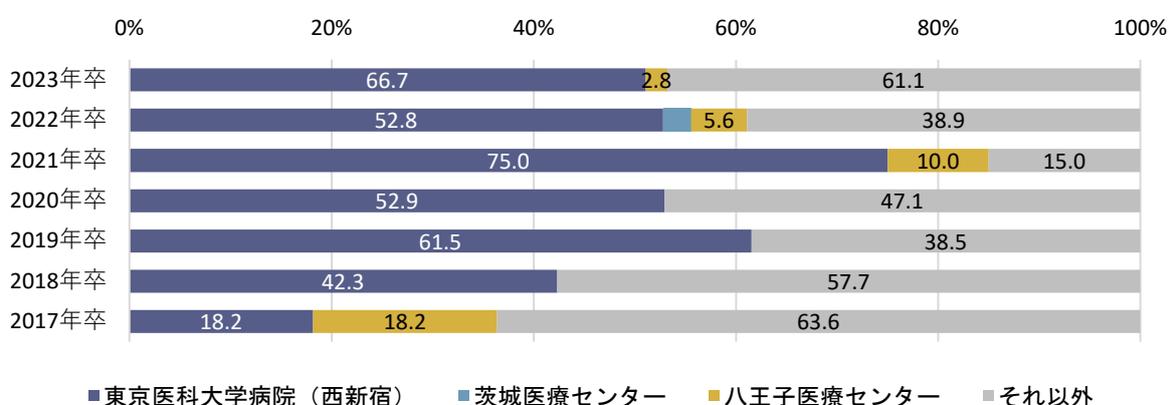
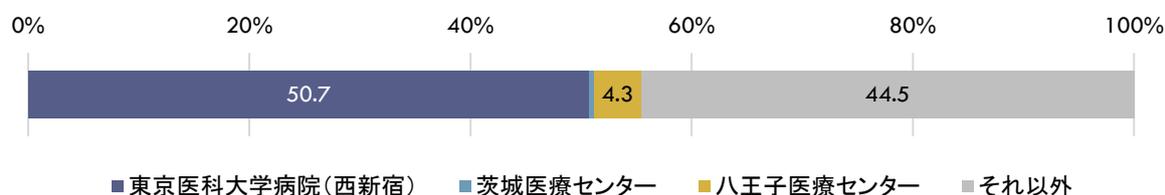
卒業直後は、全体として91.7%が就職していた。卒業別に見るといずれの卒業年も85%以上が就職している。進学者の割合は卒業年によって3.7%-13.3%と幅があった。



- ・ 「進学した」と回答した人の自由記述：日本赤十字助産師学校(2)、東京医療保健大学(2)、東京医療保健大学大学院(2)、母子保健研修センター助産師学校(2)、日本赤十字看護大学大学院、首都大学東京助産学専攻科、神奈川県立衛生看護専門学校、日本大学大学院、聖路加国際大学大学院、東邦大学大学院
- ・ 「それ以外」と回答した人の自由記述：育児

Q4. (Q3 で卒業直後に「就職した」と回答した人へ) 卒業直後の就職先はどちらですか。

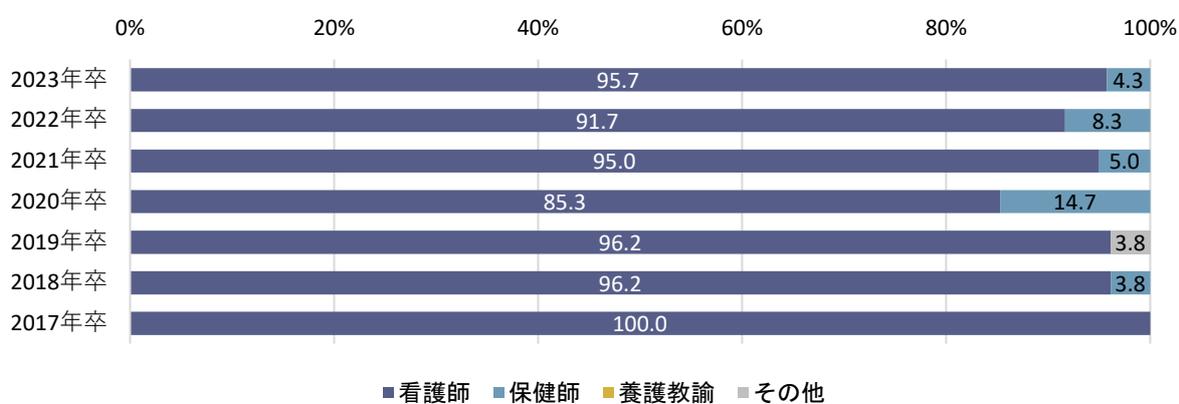
卒業直後は、全体として約半数が東京医科大学病院(西新宿)に就職している。卒業年別で 18.2%～75.0%の差が見られる。附属病院全体でも、36.4%～85.0%と幅がある。



- ・ 「それ以外」と回答した人の自由記述：国立国際医療研究センター病院 (6)、虎の門病院 (4)、順天堂大学医学部附属順天堂医院 (3)、東京大学医学部附属病院 (3)、慶應義塾大学病院 (2)、埼玉県 (2)、港区 (2)、横浜市役所 (2)、陽和病院、北里大学病院、豊島病院、日本医科大学附属病院、徳洲会館山病院、東邦大学大橋病院、東邦大学医療センター大森病院、東邦大学医療センター佐倉病院、東京武蔵野病院、東京都立大塚病院、東京慈恵会医科大学附属病院、東京医科歯科大学病院、長谷川病院、筑波大学附属病院、大森赤十字病院、前橋赤十字病院、千葉大学病院、千葉県総合救急災害医療センター、聖路加国際病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、上尾中央第二病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、山梨大学医学部附属病院、三宿病院、三井記念病院、埼玉県立小児医療センター、国立開発法人国立成育医療研究センター、虎の門病院分院、九段坂病院、共済病院、癌研有明病院、横浜市立大学市民総合医療センター、杏林大学医学部附属病院、さいたま市立病院、NTT 東日本関東病院、千葉大学、世田谷区烏山総合支所、滑川町役場、藤沢市役所

Q5. (Q3 で卒業直後に「就職した」と回答した人へ) 卒業直後の業務上の職種を教えてください。

卒業直後の就職時の職種は全体として 93.9%が看護師だが、保健師として就職している者も全体の 5.7%いた。卒業年別にみると、ばらつきはあるものの 0.0%~14.7%の幅がある。



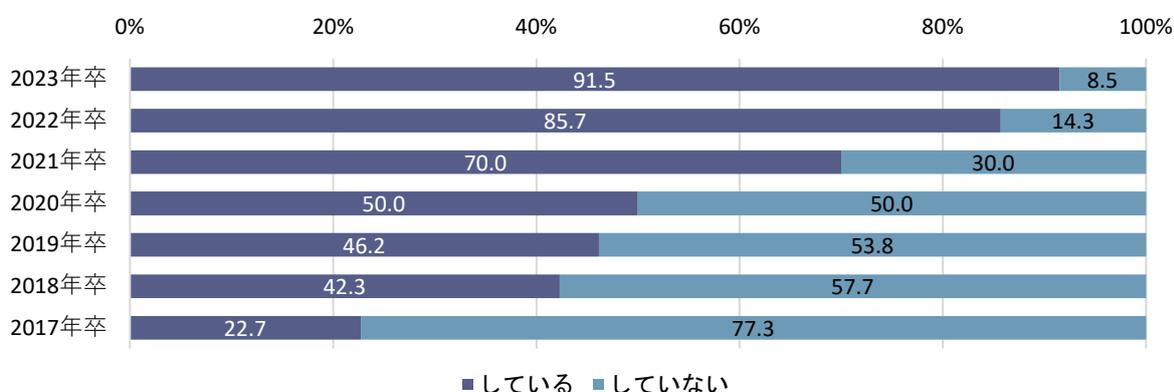
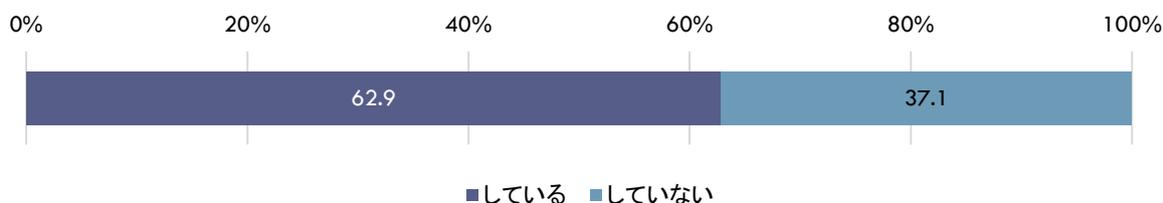
Q6. (Q3 で卒業直後に「就職した」と回答した人へ) 卒業直後の雇用形態を教えてください。

卒業直後の雇用形態は、回答者全員が常勤であった。

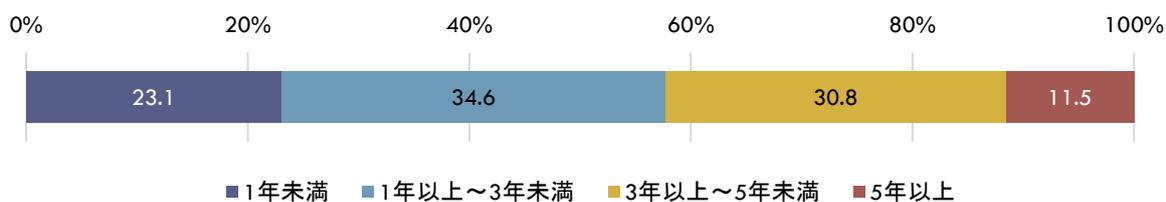


Q7. (Q3 で卒業直後に「就職した」と回答した人へ) 現在も同じ所に勤務していますか。

卒業直後に就職している者に現在も勤務を継続しているかを尋ねた結果、継続している者は全体として 62.9%であった。卒業年別では 2017 年卒において同じ所に勤務している者は 22.7%であり、2023 年卒は 1 年以内で 8.5%が卒業直後の勤務先から離れている。



Q8-1. (Q3 で卒業直後に「就職した」と回答し、Q7 で現在も同じ所に勤務「していない」と回答した人へ) 卒業直後の勤務先の勤続年数を教えてください。



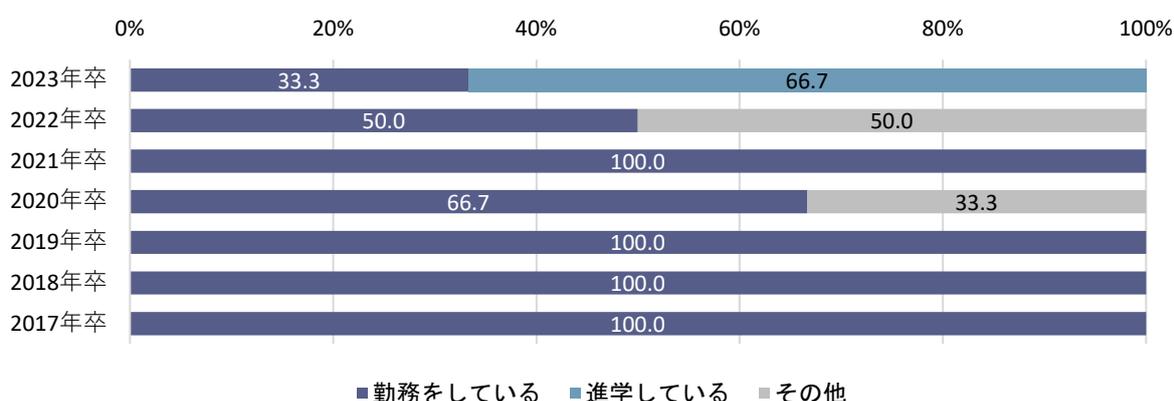
Q8-2. 退職理由を教えてください。

転職 (保健師・養護教諭・美容クリニックなど) (9)、結婚・転居 (6)、体調不良 (4)、夜勤が合わなかった (4)、他の分野に興味を持った (4)、出産 (3)、職場環境 (3)、業務負担が大きい (3)、ハラスメント (2)、残業時間が多い (2)、資格取得 (2)、人間関係 (2)、ストレス (2) 海外留学、進学、生活スタイルの変容、在宅領域へチャレンジ

Q9-Q12 は、卒業直後に「進学した」「それ以外」と回答した者（10.0%）への質問である。

Q9. (Q3 で卒業直後に「進学した」「それ以外」と回答した人へ) 現在の状況を教えてください。

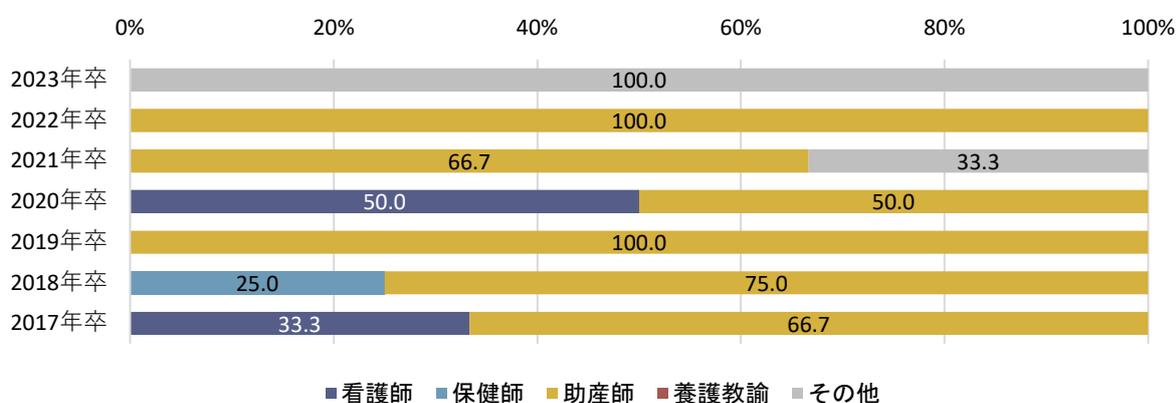
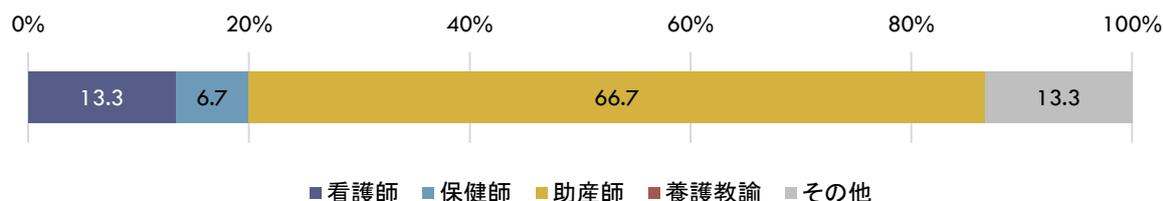
卒業直後に「進学した」「それ以外」と回答した者のうち、現在勤務している者は78.9%であった。進学している10.5%は、いずれも卒後1年目（2023年卒）の者だった。



- ・ 「勤務をしている」と回答した人の自由記述（具体的な勤務先名）：東京医科大学病院（4）、訪問看護ステーション（3）、訪問看護リハビリステーション（2）、長谷川病院（2）、美容脱毛クリニック（2）、あかまつ透析クリニック、さいたま市立病院、京都市立病院、銀座肌クリニック、慈恵医科大学附属病院、聖路加国際病院、赤羽総合中央病院、赤心堂病院、東京かつしか赤十字母子医療センター、東京医科歯科大学病院、東京通信病院、二本松眼科病院、立川相互病院、クリニック、吉岡薬局、透析室、保健所、林野庁、足立区、区役所、グローバルキッズ保育園、玉川聖学院中等部・高等部、公立小学校、私立中高一貫校、東京電力、株式会社メディアドゥ、株式会社リコー
- ・ 「進学している」と回答した人の自由記述（具体的な進学先名）：順天堂大学大学院、千葉大学、東京医療保健大学、東京食料栄養専門学校、東邦大学大学院学助産学専攻科、湘南医療大学専攻科助産学専攻
- ・ 「その他」と回答した人の自由記述（具体的に）：育休中（4）、専業主婦（3）、海外留学（2）、海外留学準備期間、4月から多摩総合医療センターにて勤務開始、離職中

Q10. (Q3で卒業直後は「進学した」「それ以外」で、Q9で現在は「勤務している」と回答した人へ) 現在の業務上の職種を教えてください。

卒業直後に「進学した」「それ以外」と回答し、現在は「勤務している」と回答した者に現在の業務上の職種を尋ねたところ、助産師が66.7%、看護師が13.3%、保健師が6.7%だった。進学者の大半は、助産師資格取得を目的に進学していることが分かる。



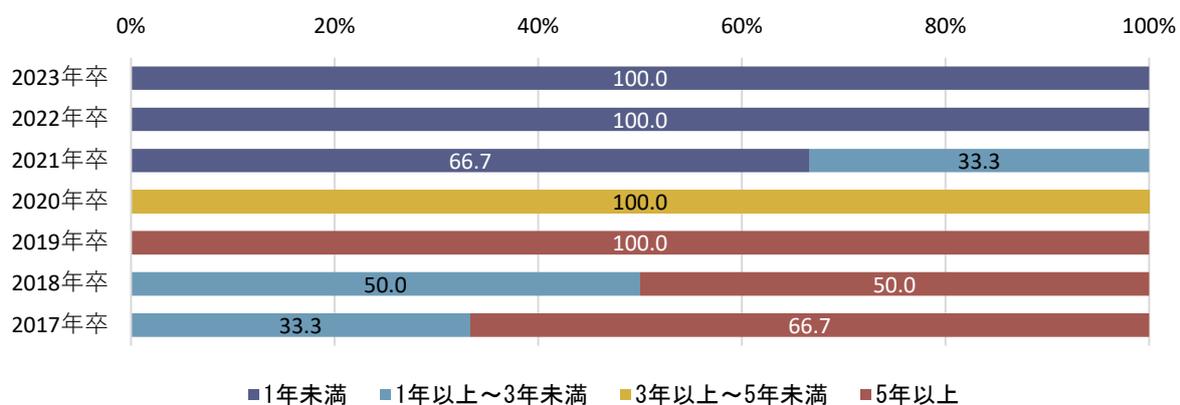
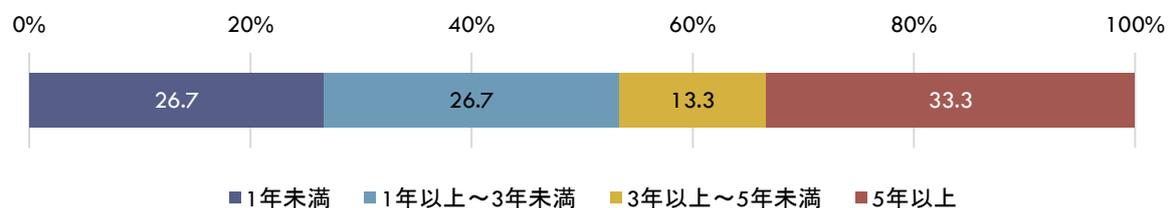
「その他」と回答した人の自由記述 (具体的に)：調剤事務、公務員、店員、会社員、就労支援員

Q11. (Q3で卒業直後は「進学した」「それ以外」で、Q9で現在は「勤務している」と回答した人へ) 現在の雇用形態を教えてください。

卒業直後に「進学した」「それ以外」と回答した者に現在の雇用形態を尋ねたところ、93.9%が常勤であった。



Q12. (Q3で卒業直後は「進学した」「それ以外」で、Q9で現在は「勤務している」と回答した人へ) 現在の所属先の勤続年数を教えてください。

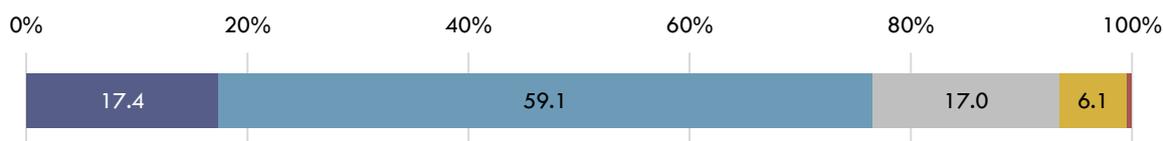


ここから全員に伺います。

卒業後の意識や行動の変化に関して伺います

Q13. 卒業して社会に出たことで、“医療職として社会に貢献するという意識”は変化しましたか。

変化した（「大いに变化した」と「ある程度变化した」の合計）が全体の76.5%だった。卒業年ごとには顕著な傾向は見られない。



■大いに变化した ■ある程度变化した ■どちらでもない ■あまり変化しなかった ■全く変化しなかった



■大いに变化した ■ある程度变化した ■どちらでもない ■あまり変化しなかった ■全く変化しなかった

Q14. 卒業してから今まで、ボランティア活動や社会貢献活動に参加しましたか。具体的に教えてください。

- ・ 高齢者施設ボランティア。
- ・ 地元の中高校生への学習支援のボランティアに参加していた。
- ・ 日赤救護班での災害派遣に参加。
- ・ エイズ検査のボランティア。
- ・ 勉強会の団体立ち上げや ACP のボードゲームを作成したり、プライマリケア学会にて共同演者として参加した。地域の子ども向けのイベントスタッフとしても参加した。

専門看護師（CNS）・認定看護師（CN）の資格取得について伺います

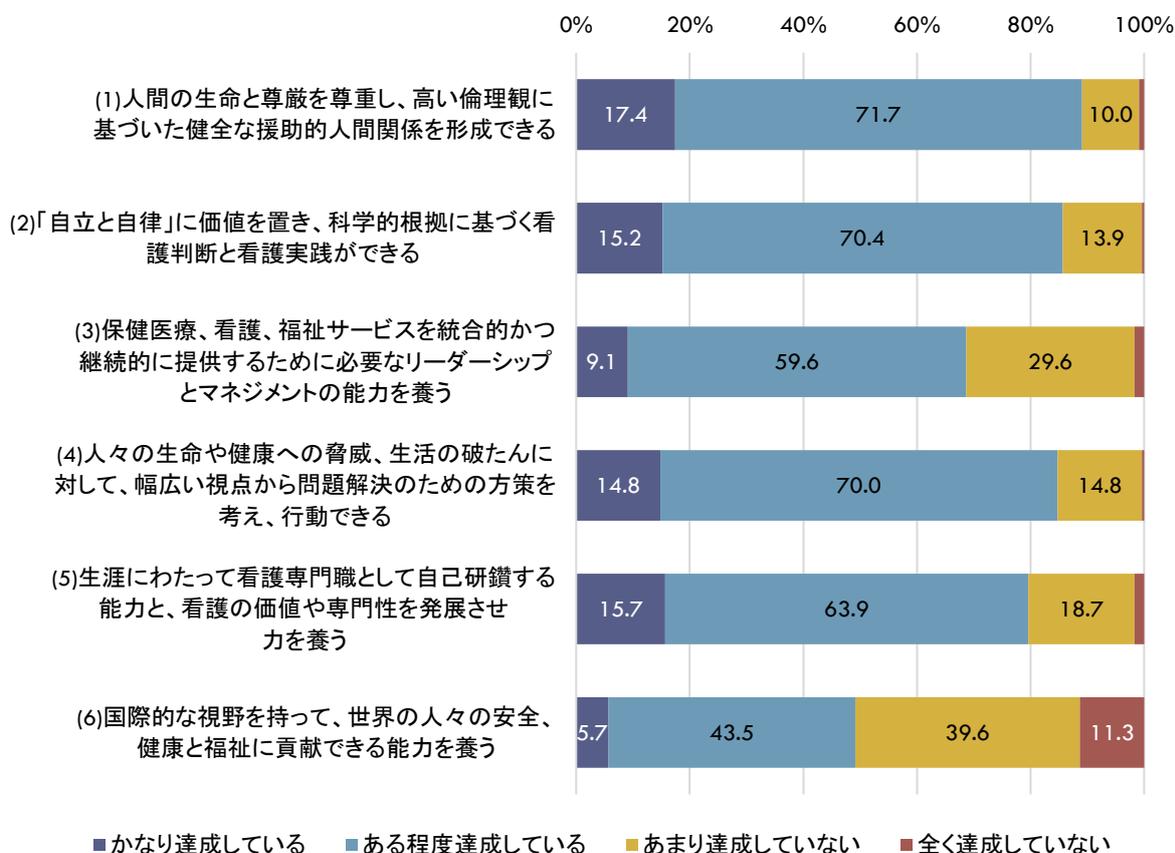
Q15. 以下の資格を取得している人は、該当するものをお選びください。

- ・ 専門看護師（CNS）資格：急性・重症患者看護（1名）

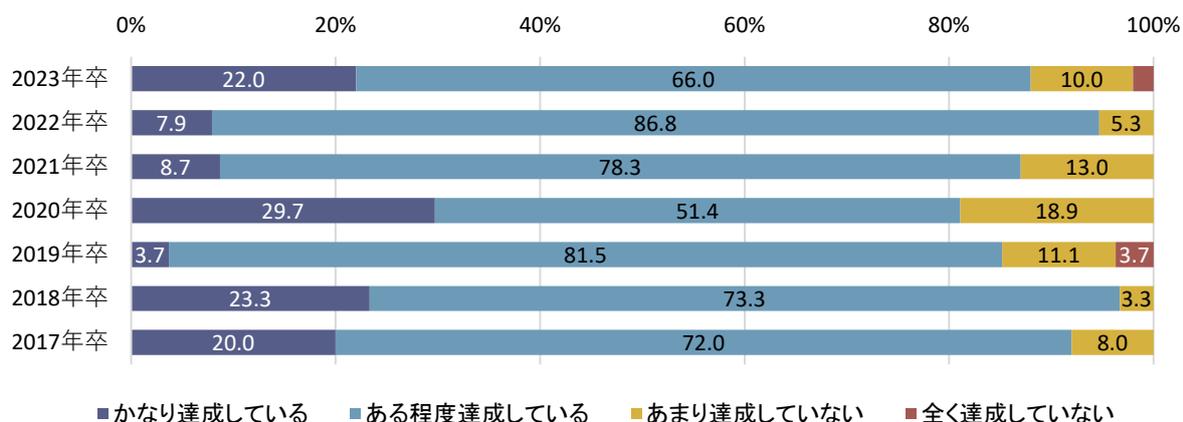
東京医科大学の教育について伺います

Q16. 以下は、「教育に関する卒業時到達目標」です。下記の内容について、現在、どの程度達成していますか。

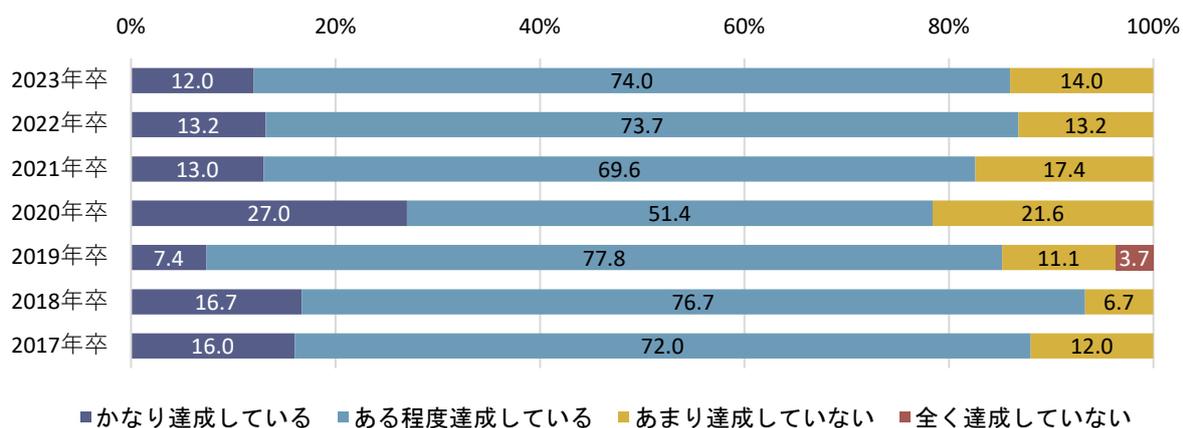
全体として達成している（「かなり達成している」「ある程度達成している」の合計）が8割を超えたのは、「(1) 人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できる」、「(2)『自立と自律』に価値を置き、科学的根拠に基づく看護判断と看護実践ができる」、「(4) 人々の生命や健康への脅威、生活の破たんに対して、幅広い視点から問題解決のための方策を考え、行動できる」だった。達成しているが5割を下回ったのは、「(6) 国際的な視野を持って、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献できる能力を養う」だった。



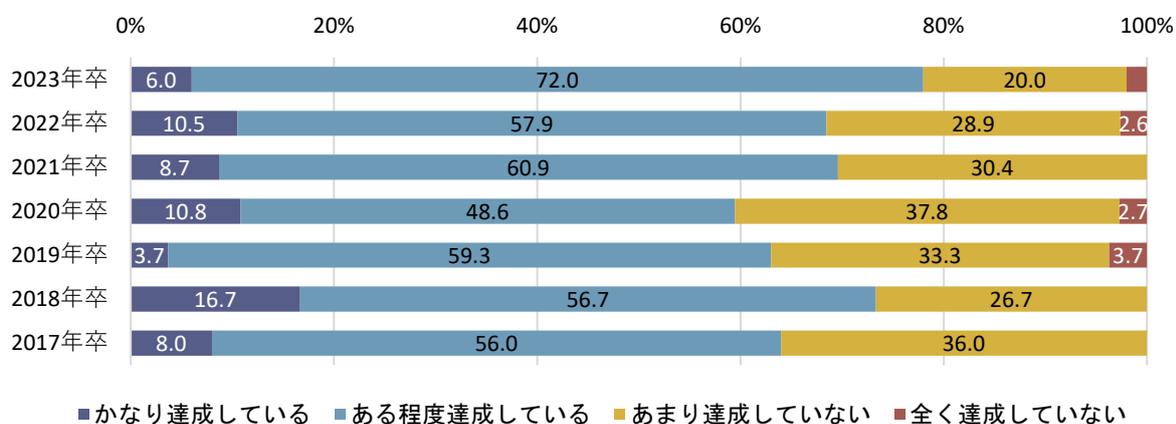
(1) 人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できる



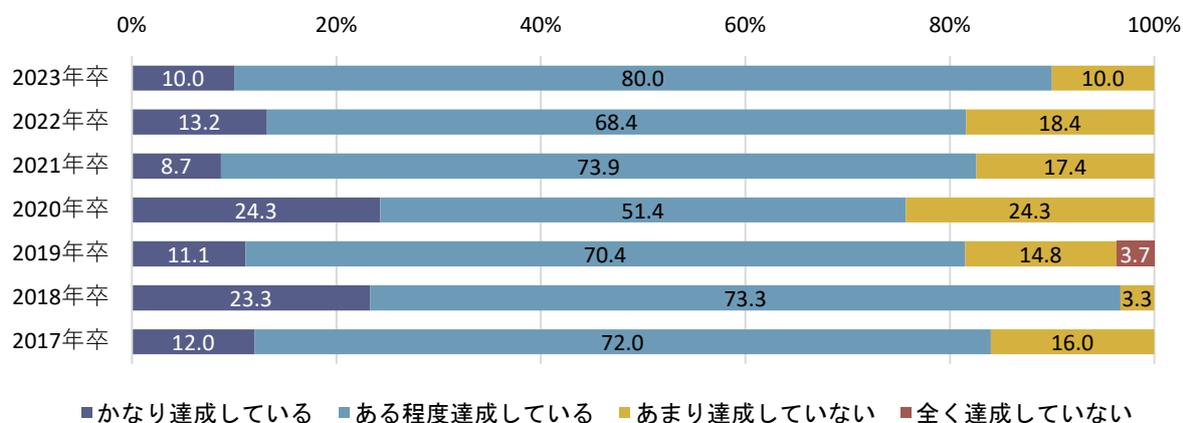
(2) 「自立と自律」に価値を置き、科学的根拠に基づく看護判断と看護実践ができる



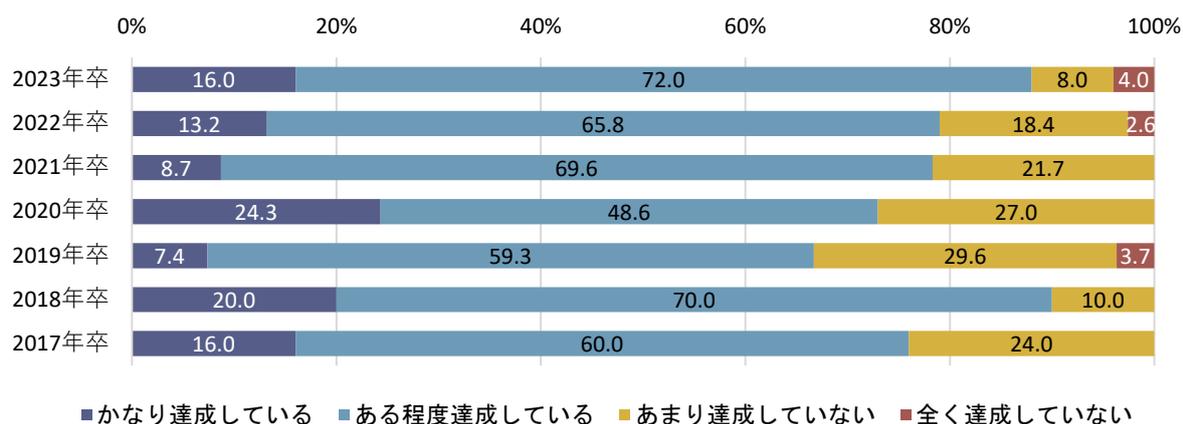
(3) 保健医療、看護、福祉サービスを統合的かつ継続的に提供するために必要なリーダーシップとマネジメントの能力を養う



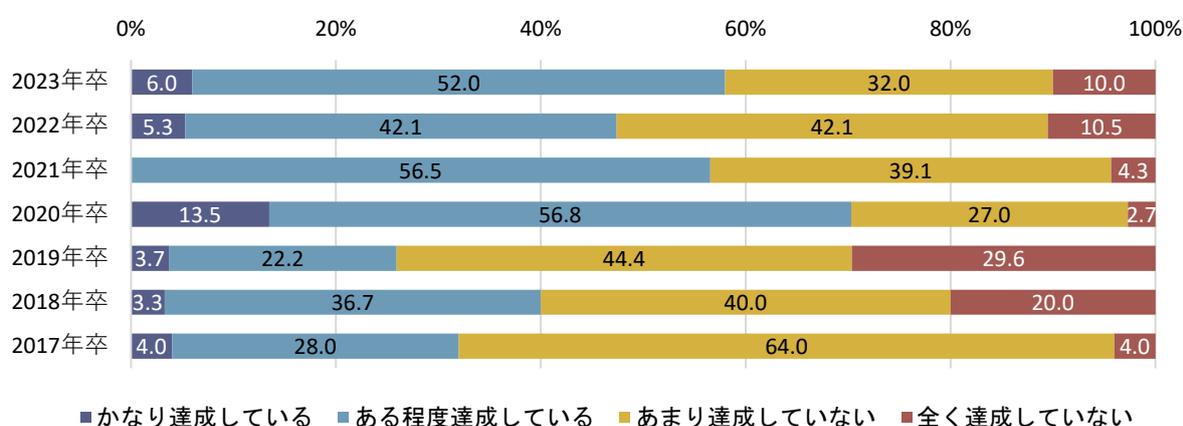
(4) 人々の生命や健康への脅威、生活の破たんに対して、幅広い視点から問題解決のための方策を考え、行動できる



(5) 生涯にわたって看護専門職として自己研鑽する能力と、看護の価値や専門性を発展させる力を養う

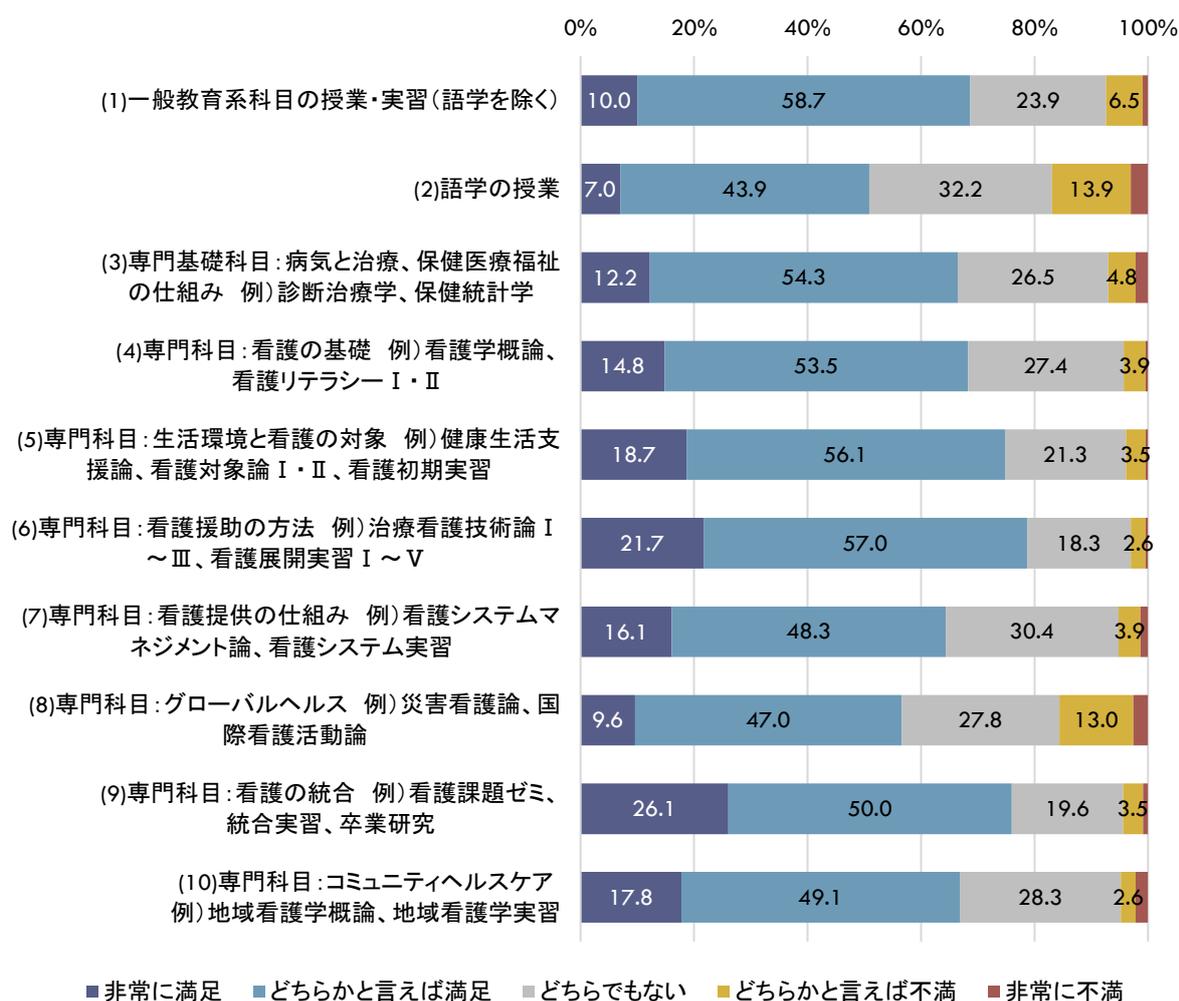


(6) 国際的な視野を持って、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献できる能力を養う



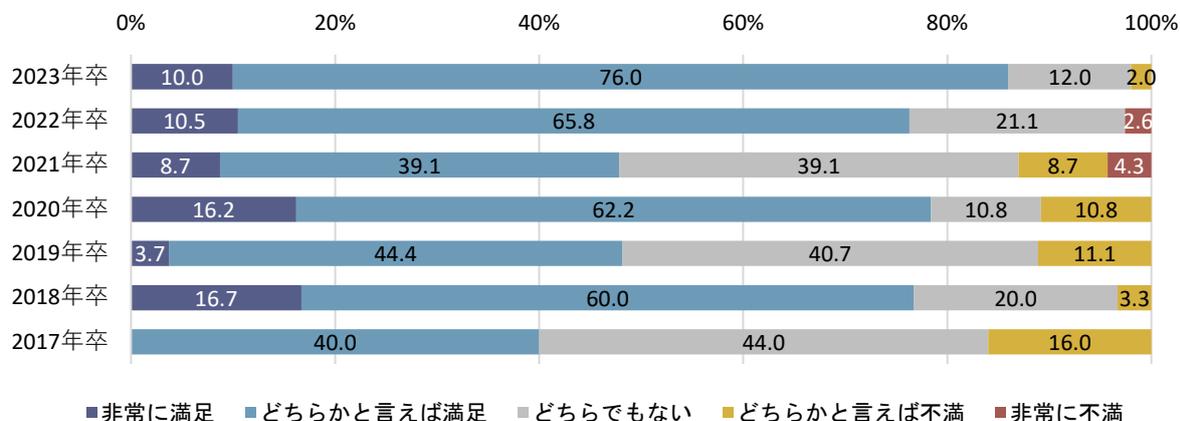
Q17. カリキュラムの満足度はいかがでしたか。

全体として、満足（「非常に満足」「どちらかと言えば満足」の合計）が7割を超えたものは、「(5) 専門科目：生活環境と看護の対象 例) 健康生活支援論、看護対象論Ⅰ・Ⅱ、看護初期実習」、「(6) 専門科目：看護援助の方法 例) 治療看護技術論Ⅰ～Ⅲ看護展開実習Ⅰ～Ⅴ」、「(9) 専門科目：看護の統合 例) 看護課題ゼミ、統合実習、卒業研究」であった。逆に不満（「どちらかと言えば不満」「非常に不満」の合計）が1割を超えたのは、「(2) 語学の授業」と「(8) 専門科目：グローバルヘルス 例) 災害看護論、国際看護活動論」であった。

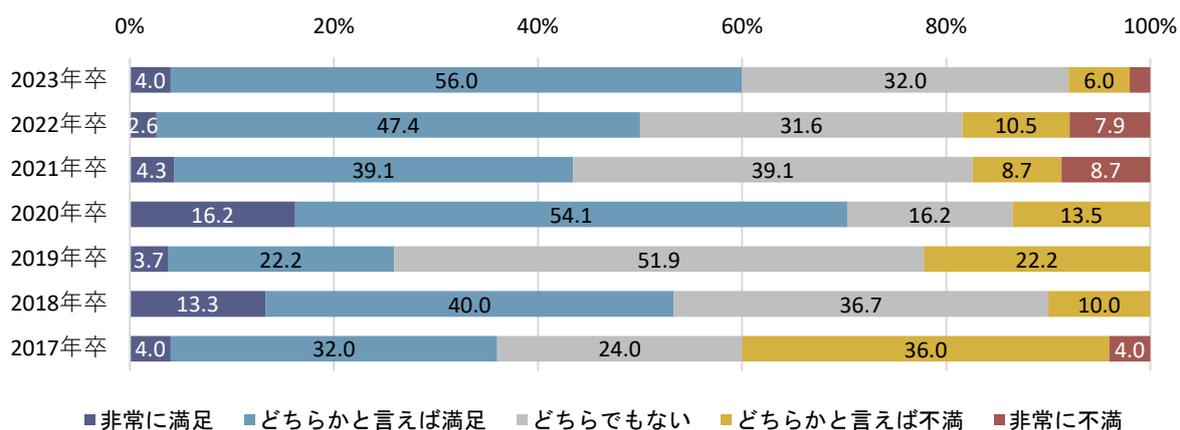


以下、カリキュラムの内容ごとに、卒業年ごとの結果を示す。

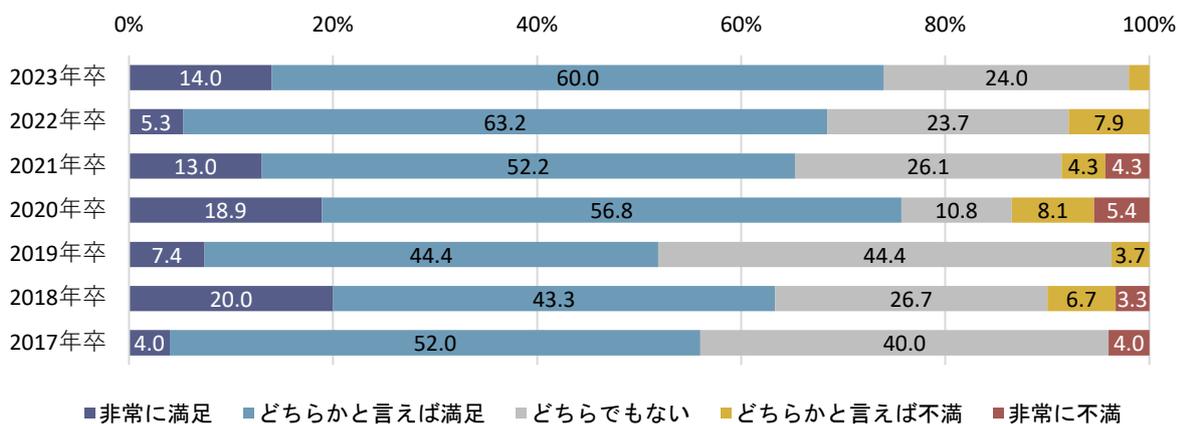
(1) 一般教育系科目の授業・実習（語学を除く）



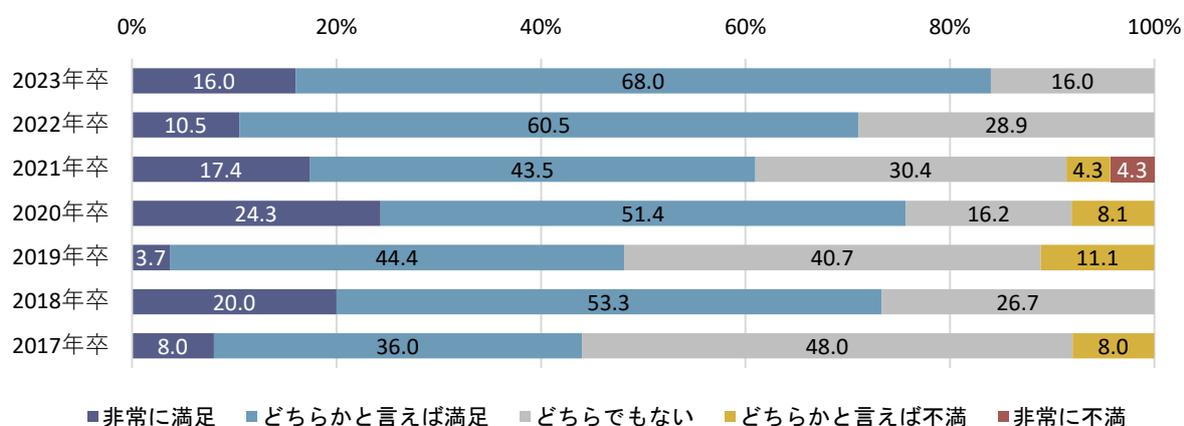
(2) 語学の授業



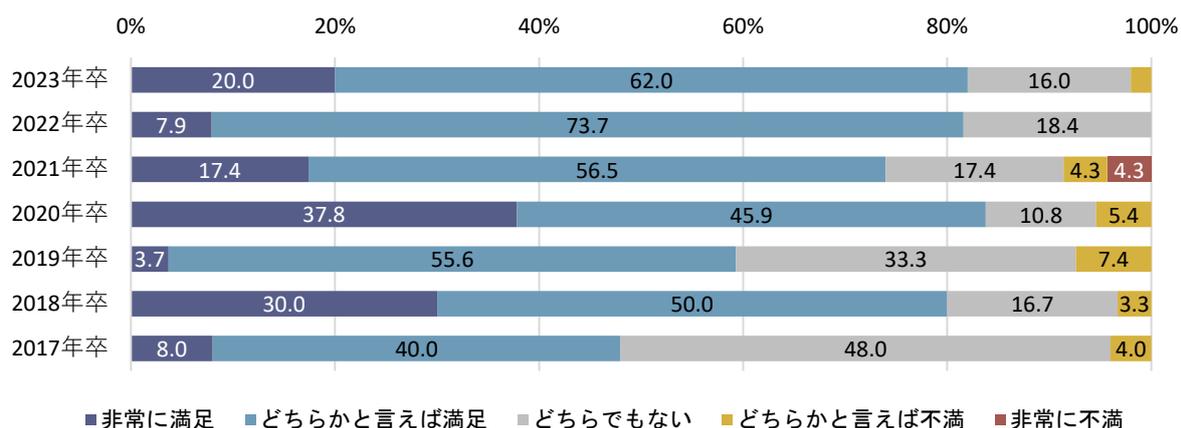
(3) 専門基礎科目：病気と治療、保健医療福祉の仕組み 例) 診断治療学、保健統計学



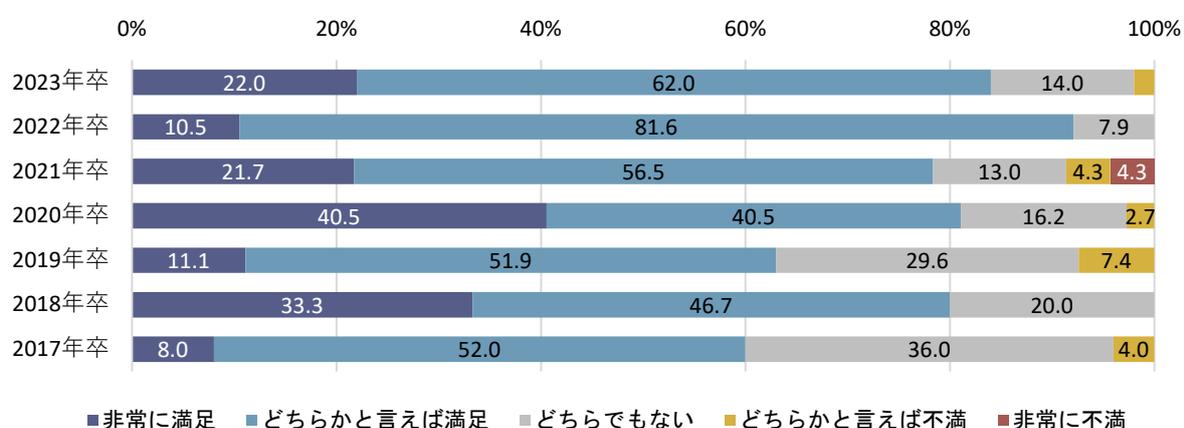
(4) 専門科目：看護の基礎 例) 看護学概論、看護リテラシー I・II



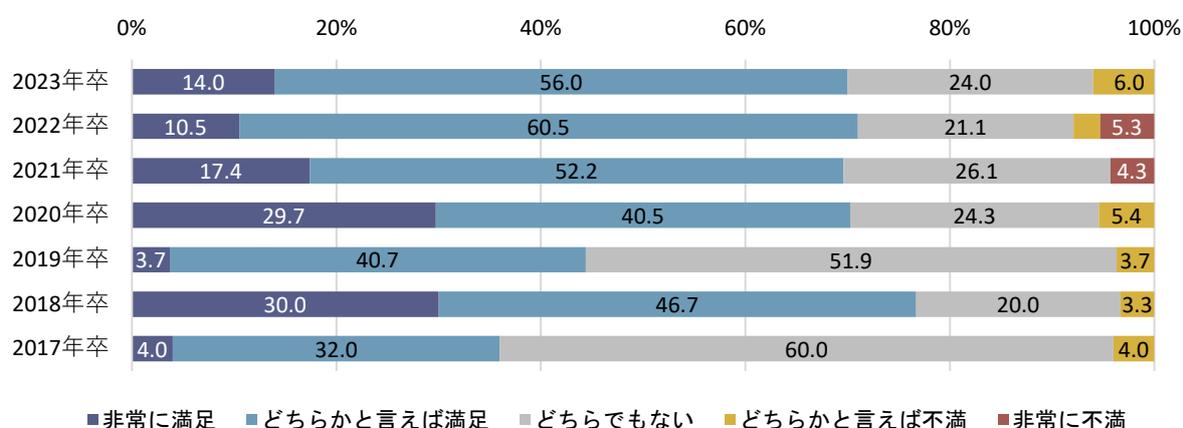
(5) 専門科目：生活環境と看護の対象 例) 健康生活支援論、看護対象論 I・II、看護初期実習



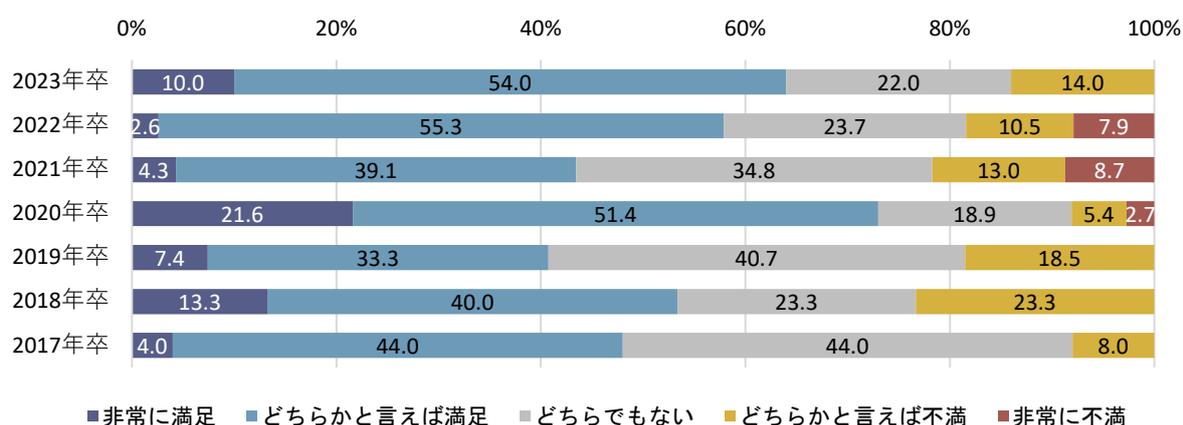
(6) 専門科目：看護援助の方法 例) 治療看護技術論 I～III、看護展開実習 I～V



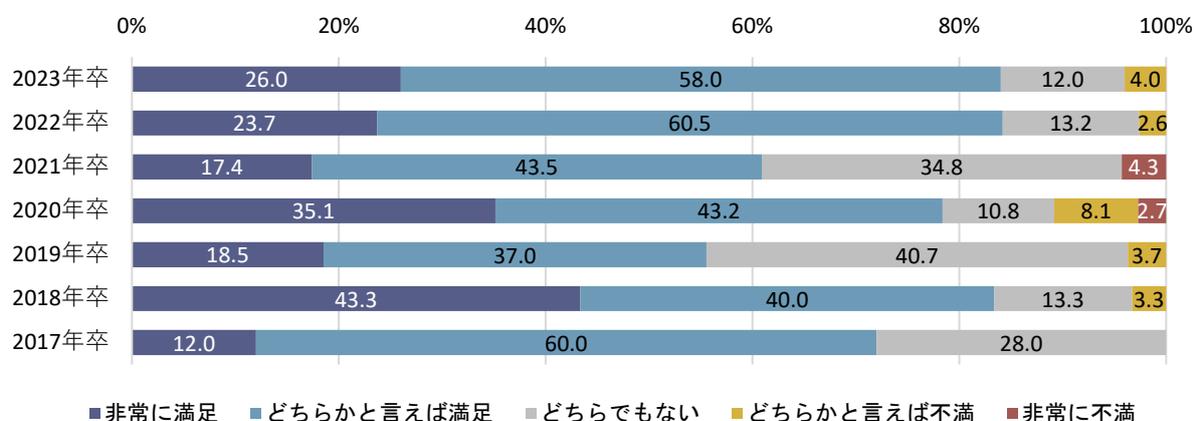
(7) 専門科目：看護提供の仕組み 例) 看護システムマネジメント論、看護システム実習



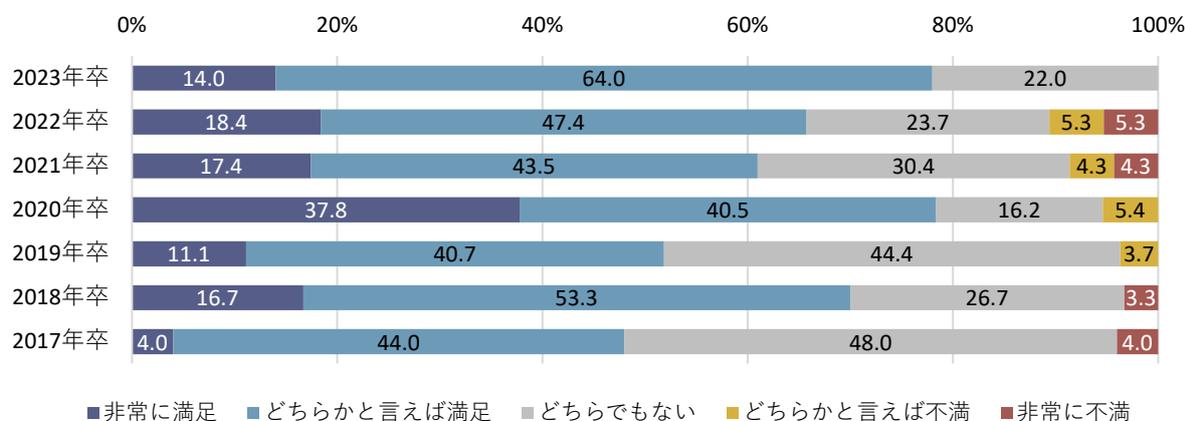
(8) 専門科目：グローバルヘルス 例) 災害看護論、国際看護活動論



(9) 専門科目：看護の統合 例) 看護課題ゼミ、統合実習、卒業研究



(10) 専門科目：コミュニティヘルスケア 例) 地域看護学概論、地域看護学実習



Q18. そのほか、カリキュラムや科目についてご意見があれば聞かせてください。

●具体的な科目等

- ・ 医師が講師の診断治療は看護学生に内容が合わず非常に分かりにくかった。看護学生に合わせたレジュメや説明をしてほしかったです。
- ・ 診断治療学で医師から授業を受けれたのは興味あったが、応用の話などしており、偏りがあった気がする。実際国試の勉強した時に、授業の学びがあまり役に立たなかった。
- ・ 語学は医療に関する語学科目あればよかった。
- ・ 統計学、文化人類学の講師が分かりづらかった。
- ・ 「専門科目：看護の統合」は、教員の質に差があると思う。教員により、学びに差があるのは、おかしいのではないか。

●実習

- ・ 実習時、生徒への対応の差がみられる教員がいた。
- ・ 1年次から3年次までの実習先(病棟)は同じところではないところに行けると良かったです。
- ・ 実習で落単して留年した友達がありました。全日出席して、レポートも出していました。最低限のやることは私からみたらやっていたので、実習の単位を与える評価をもっと客観的にしめしてほしいと思いました。

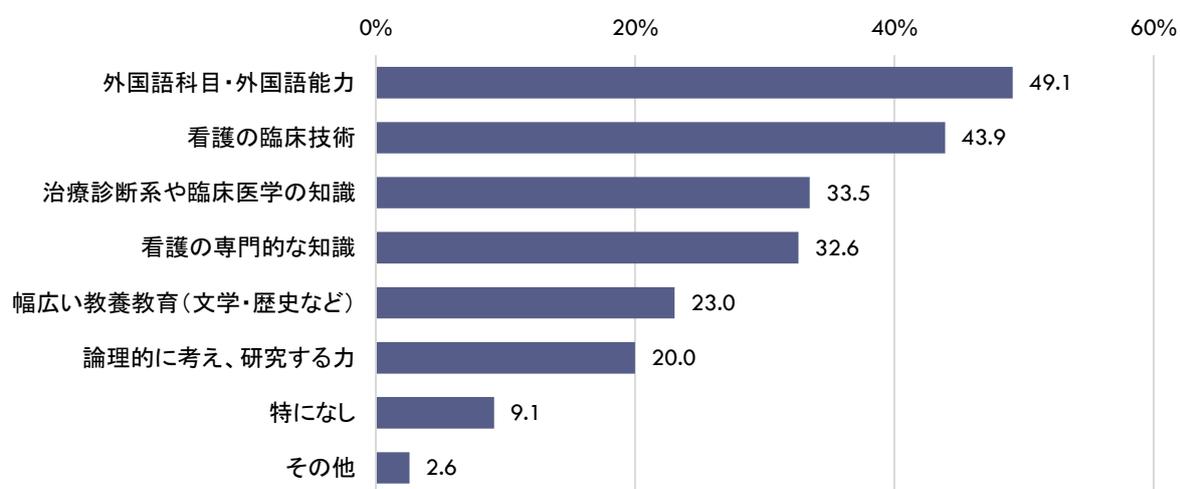
●授業やカリキュラム

- ・ 医療知識や看護技術をもっと現場をイメージした授業をした方がいいと思う。看護学生で学んだことは現場ではほんの一部しか役に立たなかった。
- ・ 養護教諭1種が取れたら更に良かったです。
- ・ 2個下の代で多くの留年者が出たと聞き、年ごとに変容させるのは悪くないと思うが、突然の大幅な変更は生徒のためにならないと思いました。

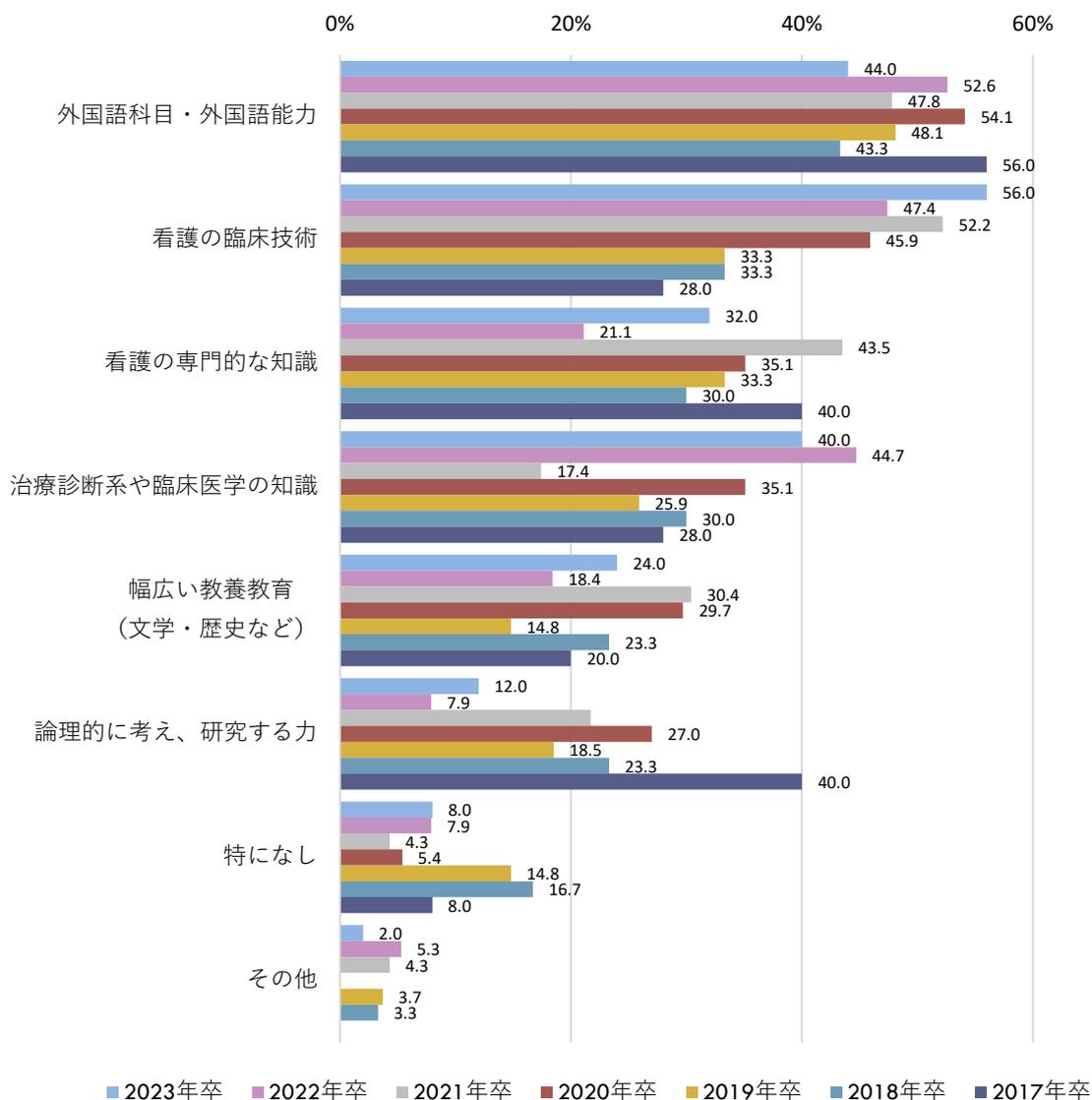
Q19. 在学中にもっと学んでおけば良かった、身につけておけば良かったことはどのようなことですか。(複数選択)

全体としては、割合が最も高いのが「外国語科目・外国語能力」であり、次いで、「看護の臨床技術」であった。

卒業年度別にみると年度により大きなばらつきがあるが、例えば卒業一年目の 2023 年卒は、「看護の臨床技術」をもっと学んでおけば良かった・身につけておけば良かったと感じている者が 56.0%と全体で最も高い。



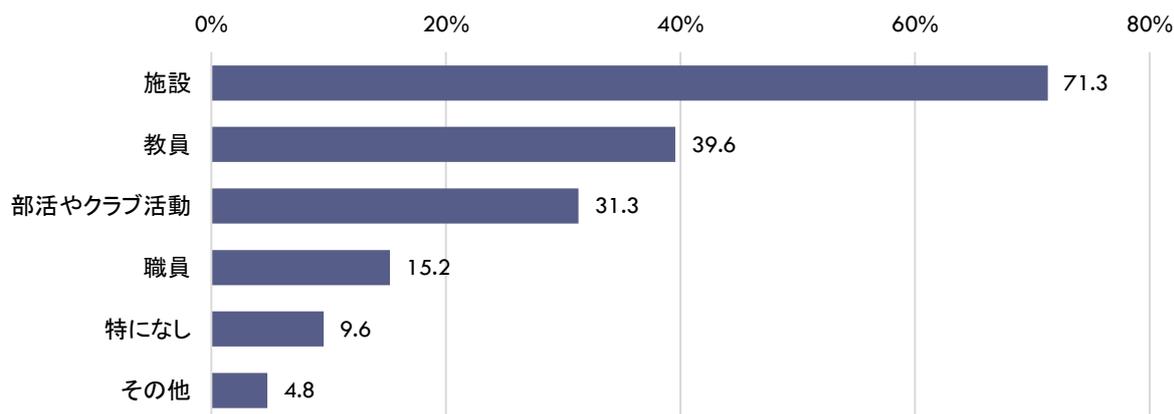
以下、卒業年ごとに示す。



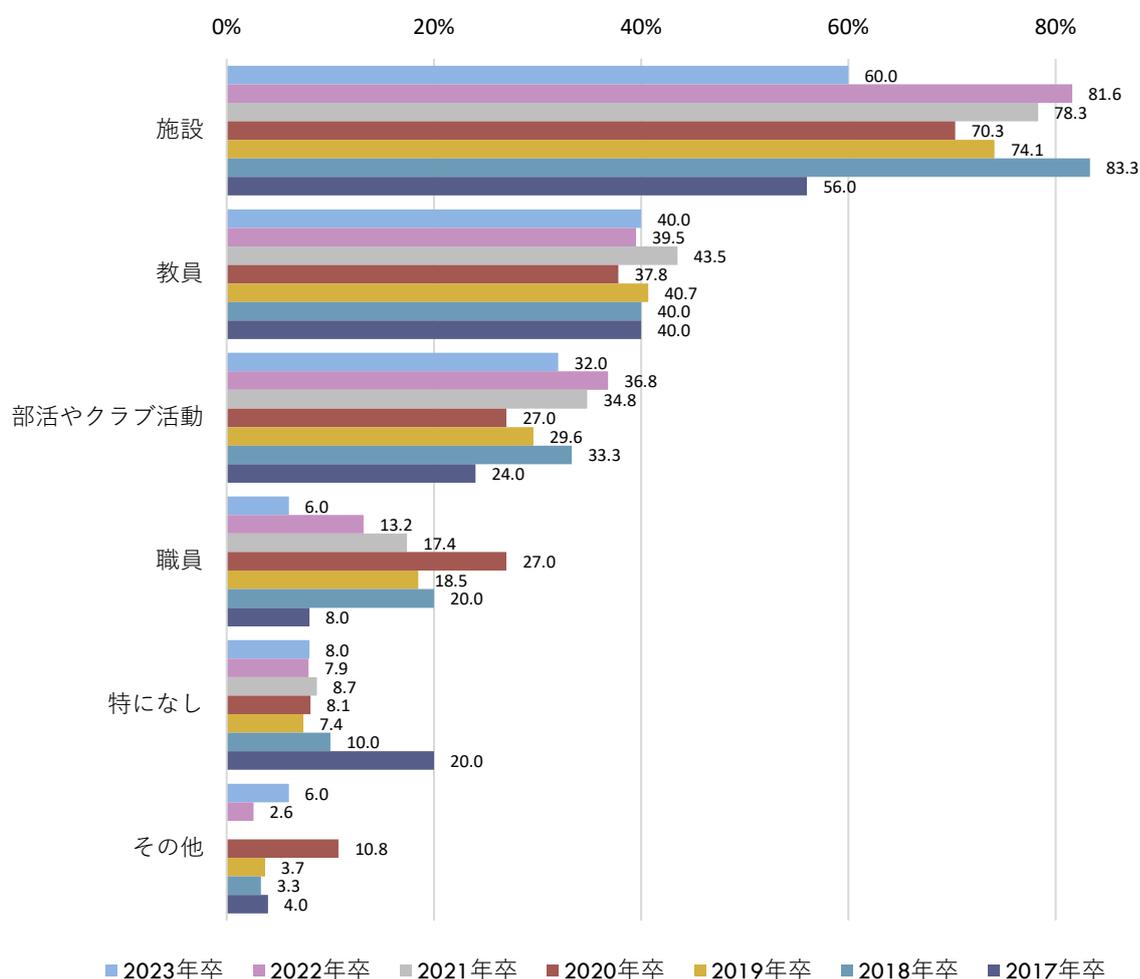
- ・ 「その他」と回答した人の自由記述（具体的に）：看護師の就職先の種類（2）、多重課題への対応（2）看護師として働く上で、常に優先順位を付けながら業務を行わなければならないのでその考え方の基礎となる授業があれば良かった、文章作成やPC操作の能力、税金関連やお金に関すること(NISA.ideco)

Q20. 現在、東京医科大学医学部看護学科を振り返って、良かったと思う点について教えてください。（複数選択）

全体としては、良かったと思う者の割合が高い順に、「施設」、「教員」、「部活やクラブ活動」であった。特に「施設」は全体の71.3%が良かったと回答した。卒業年別でみると、第1看護学科棟ができた2018年卒業生以降、「施設」を良かったと評価した者が7割を超えていたが、2023年卒で60.0%に低下している。



以下、卒業年ごとに示す。



「施設」について良かったと思う点（具体的に）

●学内環境

- ・ 施設が綺麗。(34)
- ・ 施設は新しく、清潔感があって良かった。(17)

●シミュレーターや演習室

- ・ 医療シミュレーターが充実していた。(15)
- ・ 演習や学習設備が整っていると感じた。(13)

●キャンパスのサイズや位置

- ・ 立地がいい。(12)
- ・ アクセスの良さ。(4)
- ・ 校舎がコンパクトで移動しやすい。(4)

●附属病院

- ・ 付属の大学病院で実習することができた。(6)
- ・ 病院からも近く実習後に学校に戻り課題をみんなでできるなど利便性も良かった。

●自習室や図書館

- ・ 自習スペースやパソコンの使用できる環境は充実していた。(3)
- ・ 図書館など、勉強できる環境が整っていた。
- ・ 図書館の24時間解放がよかった。

●PCや周辺機器

- ・ パソコンの台数とかWi-FiやiPad学習など充実していて嬉しかった。(2)

「教員」について良かったと思う点（具体的に）

●親切・親身になってくれた

- ・ 親身になってくれた。(13)
- ・ 優しくしてくれた。親切な教員が多かった。(5)
- ・ すごく熱心に指導して頂いたと思っています。(4)
- ・ コミュニケーションをよくとり、相談しやすかった。(3)
- ・ 進学をサポートして下さった点。
- ・ 人がよかった。手厚かった。
- ・ 学生の状況を確認して対応や配慮をしてくれる。
- ・ 就職や実習の不安を傾聴して不安を軽減して下さった。
- ・ いい先生ばかりで学生生活が楽しかった。
- ・ 分からないことや不安なこと等、とても丁寧に向き合ってくださいました。
- ・ 指導が上手な先生方が多いと感じました。また親身になって応援して下さる先生方がいらっしゃる感謝しています。

- ・ 学科長はとても生き生きして芯がある女性で素敵な看護師としてのロールモデルだと思います。女性の生き方としても素敵。

●担任制・ゼミ

- ・ 担任制度が相談しやすい体制だった。(2)
- ・ ゼミ担当の先生がとても親身になってくださり大変良かった。(2)
- ・ 担任やゼミの先生方には就職の際大変お世話になりました。
- ・ 実習の際は丁寧に指導してくれた。特に担任の先生には就職、ゼミ等手厚くサポートして貰えた。
- ・ 実習、ゼミで沢山ご指導して頂けたから。
- ・ ゼミの先生には大変お世話になりました。オープンな先生で学びやすかったです。

●授業の分かりやすさ・専門性

- ・ 各分野で活躍されている教員からの授業は学びが多かった。(2)
- ・ 高度な専門技術。
- ・ 実習中に疾患や看護について関連性を持たせながら指導をしてもらえた。
- ・ 実務の経験談を交えながら教えていただきました。

●授業の進め方

- ・ 指導の手厚さを感じた。他大学と比べて国試対策を丁寧に行なっている印象がある。
- ・ 実習やゼミで忙しいなか自分も周りも国試勉強が進まなかったが、ポイントを押さえて教えてくれた為か全員合格できた。
- ・ 学科長が生徒一人一人を覚えていて、忙しい隙間を縫って授業に顔を出してくれる。他の先生方もより良い授業内容を常に考えて下さっている。

●卒業後のつながり

- ・ 先生が卒業後も話をきいてくれる。
- ・ 卒業してからも実習の付き添い教員で来てくれる先生は声をかけてくれたり安心感がある。働いても教えてくれた先生が見守ってくれるのが嬉しい。

「職員」について良かったと思う点（具体的に）

- ・ 優しい。親切だった。(5)
- ・ 対応が丁寧だった。(5)
- ・ 話しやすかったです。
- ・ 人がよかった。

「部活やクラブ活動」について良かったと思う点（具体的に）

●人との交流

- ・ 部活に入ったことで学科や学年を超えて仲を深められたこと (6)
- ・ 医学科とのつながりができ幅広い交流に繋がった。(4)

- ・ 卒業後も交流できる仲間ができた。(4)
- ・ 友人がたくさんできた。(4)
- ・ 就職先の病院でも繋がりがある (3)
- ・ 知り合いが増える。コミュニティがしてくれる。
- ・ 所属していた Life では地域の人と交流できる機会があり、看護の対象者がどのように地域で暮らしているのかなどを考えるきっかけとなった。
- ・ 部活動を通し、人間関係の良好な築き方を学びました。

●充実した学生生活

- ・ 余暇時間の充実。
- ・ 学生生活を楽しめた。
- ・ 楽しかった。青春を送ることができた。
- ・ 練習する場所や、イベントが自由に開催参加できて充実した日々を送れた。
- ・ 個人的には興味ある活動ができたので良かった。

●その他

- ・ 社会勉強できた。
- ・ 部活があったことによってメリハリがついた。
- ・ 忍耐力や目標達成するためのプロセスを学ぶことが出来た。
- ・

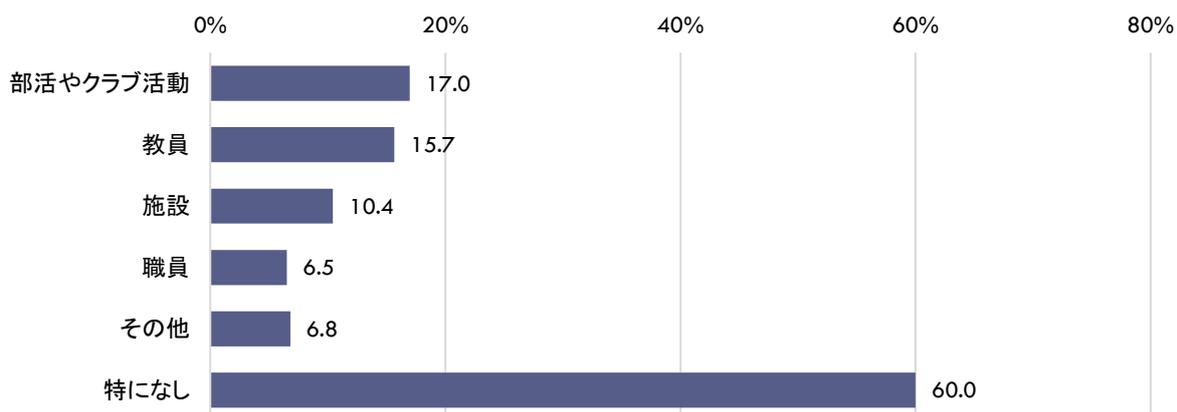
「その他」、看護学科を振り返ってよかったと思う点 (具体的に)

- ・ 立地。(2)
- ・ 友人に恵まれた。(2)
- ・ 講義。
- ・ 学習内容や質が高かったと感じた。
- ・ 付属の大学病院で実習ができること。
- ・ 図書館が24時間使い放題であった。
- ・ ゼミの先生には本当にお世話になりました。

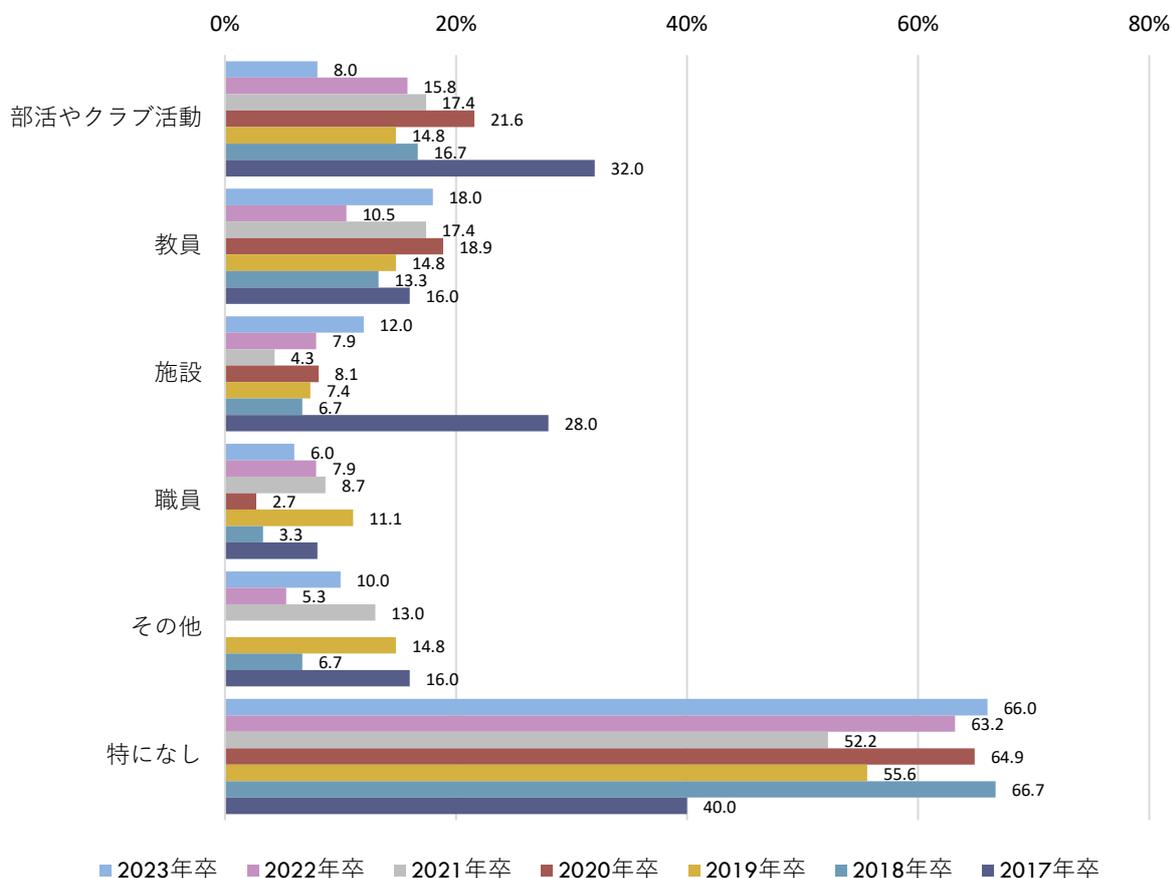
Q21. 現在、東京医科大学医学部看護学科を振り返って、改善すべきと思う点について教えてください。（複数選択）

全体としては、改善すべきと思う者の割合が高い順に「部活動やクラブ活動」、「教員」、「施設」、「職員」という結果だったが、改善すべき点は「特になし」と回答した人も全体の6割を超えた。

卒業年別で見るとばらつきはあるものの、2017年卒業生（1期生）は「部活やクラブ活動」「施設」について改善すべきと回答している者が25%を超える。



以下、卒業年度ごとに示す。



「施設」についての改善点（具体的に）

●校舎や自習室

- ・ 狭い。(2)
- ・ 静かに自習できる場が少ない。
- ・ 部活やクラブ活動する場所が狭いことや少ないこと。
- ・ そもそも狭いので、敷地自体を広げてほしい。フリースペースみたいなのがもっとあればよかった。
- ・ 自習室を24時間使えるようにして欲しかった。

●設備や機器類

- ・ ロッカーの位置がちょっと遠いかなって感じた程度です。
- ・ パソコン室の印刷機の調子が悪いことが多かった。カラー印刷ができる印刷機が少なかった。食堂の学食販売がコロナ流行と同時ぐらいに終わり、その後卒業まで再開されなかった。
- ・ 課題を行うのに学生数に対してパソコンが少なすぎた。
- ・ シミュレーション機能を上手くいかせていなかった。
- ・ 空調のばらつき。局所的に当たり、結局予算の都合など何かと理由をつけて、風を分散させるウイングをつけてくれなかった。
- ・ ロッカーが離れすぎている。自習室が常に汚い。机の配置が悪く（ファミレスのような席）うるさくて勉強に集中できない。
- ・ 食堂の隣の自習室は、食堂で部活が始まるとうるさすぎて勉強できる環境ではなかった。コピー機は用紙不足や故障で使えないことが多かった。学費を支払っているのに、コピー用紙の使用枚数を制限された。

●その他

- ・ コロナであまり活用できなかった。
- ・ 学食のメニュー。

「教員」についての改善点（具体的に）

●全般的な改善点

- ・ 一部の教員が高圧的だった。(5)
- ・ 教員同士での不仲を感じた。(3)
- ・ 理不尽な対応でやる気がなくなる時がある。
- ・ 上下関係がつよく、下の先生への圧力がかかっていそうな雰囲気がある。
- ・ 教員によって求める課題量やレベルが全く異なること。
- ・ 実習の時にあからさまに虐めてきた方がいたので。
- ・ クセがある先生が多かった。

- ・ 嫌味以外を言えない教員がおり、話し方から不愉快で、人への常識的な態度や会話ができない失礼な方の言うことなど聞く気になれなかった。知識や技術があっても教育者として適した人材を採用した方がいいと思う。
- ・ 実習の際同じ担当の分野でも、教員によって指導や評価にばらつきがありすぎる。人によって差が出るのは不平等と感じる。ゼミ担当の教員によって卒論に求められるレベルや内容が異なり、それも不平等だと感じた。各ゼミの人数も定員があるため、求めるレベルや基準も評価も同じにしてほしい。定員もなく自分の選択の自己責任とするのであれば、多少ばらついても仕方がないと思えるが。

「職員」についての改善点（具体的に）

- ・ 事務手続きが遅いのが気になった。
- ・ まだ慣れていないところもあるだろうが、単位認定や必要な書類などの処理に時間がかかりすぎる。

「部活」についての改善点（具体的に）

●活動における制限

- ・ 医学科しかプレイヤーになることができない部活が多かったため残念であった。(2)
- ・ 看護学科のみの部活が少ない。(3)
- ・ 看護は入れない部活やポジションもあり不平等。部活のしきたりやOBとの関係など縛りが多く、メリットもあったが大変なことが多かった。もっと自由なサークル活動等も選択できたら良いと思う。
- ・ 看護学科がプレイヤーとして参加できる部活の少なさ。あと大学生にしてはかなり部費が高い印象。
- ・ 医学部が中心で、モラルの低いお金持ちの集まりの部活が多かった。学祭も品がないと感じるものがおおい。
- ・ 文化祭や飲み会の品のなさ。
- ・ 飲み会が多くて嫌だった。
- ・ 医学科に混ざることの居心地の悪さ。
- ・ 日常生活や学習時間を犠牲にしなければならない。
- ・ ゆるく活動できるサークルがあっても良いと思いました。

●金銭面

- ・ 部活動費が高い。
- ・ 部費が高い、治安が悪いイメージ。
- ・ 部費が年間17万かかっていた。今考えても高すぎる。辛かった。

- ・ 納会など医者しか集まらずに医学科にしか関係ない行事への高い費用を無駄に払わされるところ。医学科しか出られない大会もあるような部活は医学と看護でチームを分けたい。

●その他

- ・ 部活に入ってる子とそうじゃない子の医学科との繋がりに差が出てつらかった。本院に就職すると尚更。

「その他」看護学科を振り返って、改善すべきと思う点（具体的に）

●授業やカリキュラム

- ・ 実習。
- ・ 1限と4限みたいな日が多かった。
- ・ 学びの中身、カリキュラム。
- ・ 時間割が確立していない点。
- ・ 国際教育を掲げている割には、留学や国際系のプログラムが少ないと感じた。
- ・ カリキュラムが良くも悪くも流動的で、保健師カリキュラムも中途半端で、最終的に忙しい学生生活に振り回されて散々だった。
- ・ 人体構造機能や病体治療の授業が、一部、先生の趣味ではと思うようなマニアックな内容ばかりの時があるため、基本的なことをしっかり教えて欲しい。
- ・ 看護学、実習は内容の不透明さがあり、手探りで行くことに不安があった。

●学費

- ・ 学費。
- ・ 施設費が異常に高かった。

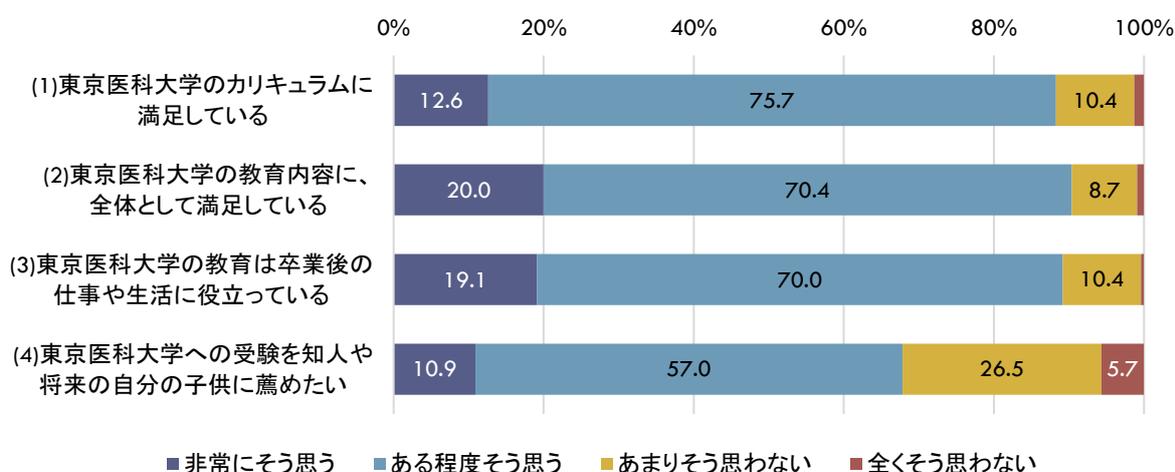
●その他

- ・ iPadを活用できていなかった。本当に活用できるか考えてから導入してほしい。
- ・ 感染症拡大下でイベントが大幅に減った。

Q22. 現在、東京医科大学医学部看護学科を振り返って、総合的にどのように感じていますか。

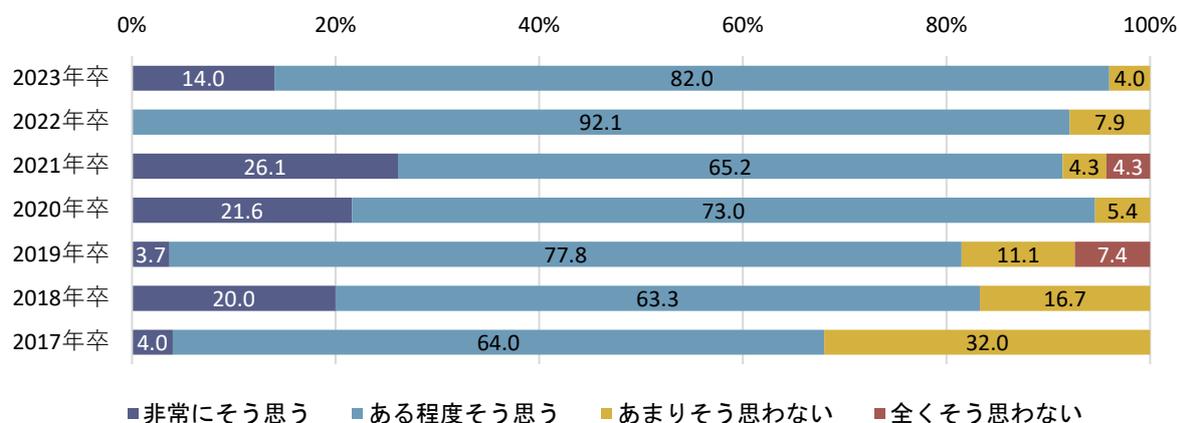
全体としては、「(1) 東京医科大学のカリキュラムに満足している」、「(2) 東京医科大学の教育内容に、全体として満足している」、「(3) 東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立っている」について、「非常にそう思う」「ある程度そう思う」を合計した割合が85%を超えた。一方で、「(4) 東京医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたい」については、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合計した割合が32.3%いた。

卒業年別にみるとばらつきはあるものの、すべての項目において、卒業年が最近になるほど「非常にそう思う」「そう思う」と回答した者の割合が増加している。

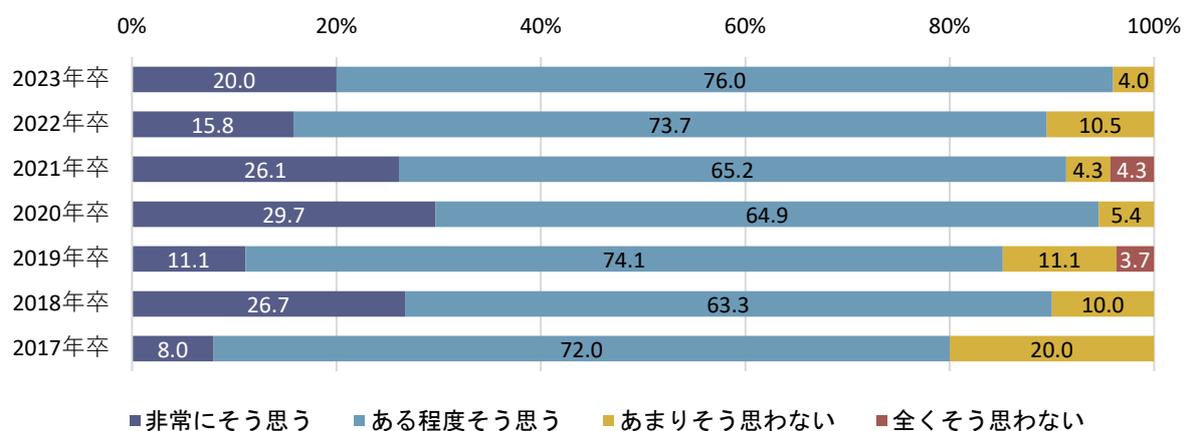


以下、項目ごと、卒業年ごとに示す。

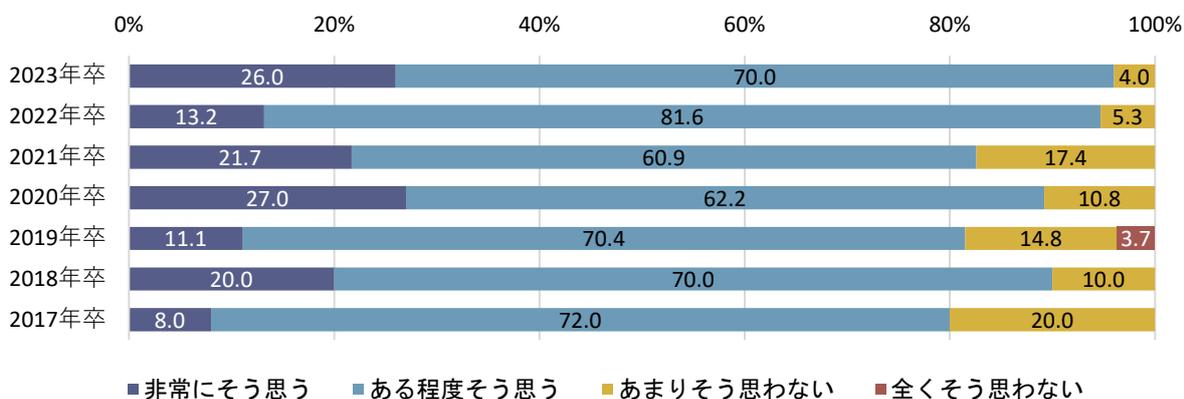
(1)東京医科大学のカリキュラムに満足している



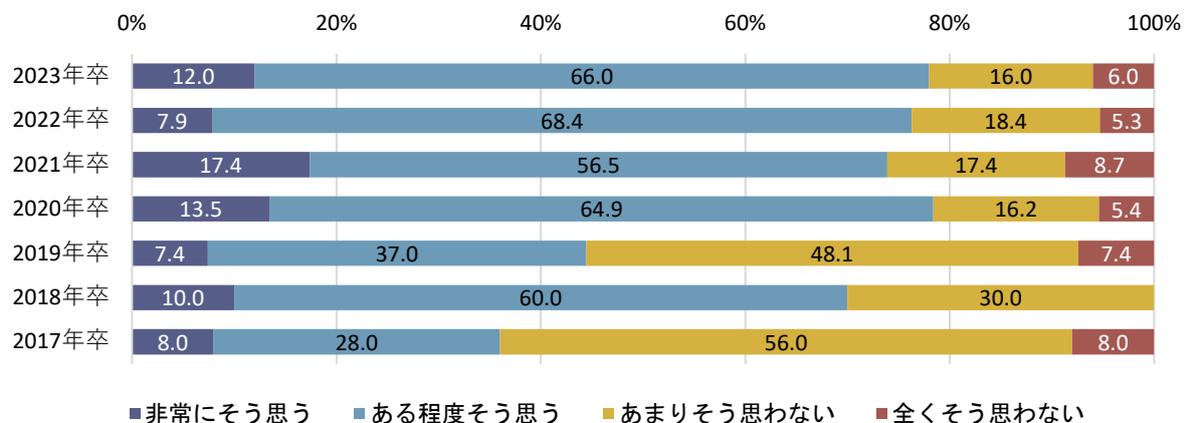
(2)東京医科大学の教育内容に、全体として満足している



(3)東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立っている



(4)東京医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたい



Q23. 東京医科大学の教育をより良くするためのご意見、または、東京医科大学へのご要望等を、自由にご記載ください。

●良かった点

- ・ コロナ禍で実習できていない学校が多い中、実習にきちんと行けたことが、就職後自分の強みになりました。ありがとうございました。
- ・ 卒業し、附属の大学病院へ入職したが実習の際に教員の先生に声をかけてもらったり褒めてもらったりしてとても心強かった。働き始めたら、最初は心細いので教職員の方が病院に来た際は声をかけてくれたりゼミの先生から連絡などいただけるとより安心感があり最初の1年踏ん張れる気がします。
- ・ 大学での授業内容はかなり満足しています。大学生活はとても楽しく勉強になりました。本院での勤務は学ぶことは多かったですが人間関係もキツく続けるのは厳しかったです。しかし本院での実習が出来たことは良かったと思います。
- ・ 東京医大に通ってよかったと今でも思っている。昨今は怒らない教育を掲げている職場が多いが、ある程度の厳しい指導や教育は命を預かる仕事として必要だと思うのできちんと指導してくれた東京医大の先生に感謝している。
- ・ 保健師の資格を取ることが出来、学びの幅が大変広がりました。有り難うございました。
- ・ 4年間お世話になりました。

●カリキュラムや科目、授業体制について

- ・ 助産師の道が選択肢として選べるといいなとおもう。24時間空いている看護科の教室が欲しかった。
- ・ 振り返ると、実践的な SOAP の書き方や病態のどこを勉強すれば実践に活かせるかをより深く学びたかったです。
- ・ 大学自体の教育のカリキュラムは充実していると思いましたが、臨床に出るために備える為の技術をもう少し学生の頃から学べたら良かったと思いました。
- ・ 臨床で使える技術を学びたかったです。輸液ポンプやシリンジポンプなど。
- ・ 記憶が定着する授業、臨床に生きる授業をしてほしかったと今は思います。東京医科大学を卒業して、病院で務められて本当に良かったです。充実しています。

●教員

- ・ 教職員を充実させること。
- ・ 本当に教員をなんとかした方がいいと思います。私の学年で多くの生徒が嫌な思いをさせられた教員が数名いました。一度授業の様子を抜き打ちで第三者に評価してもらう機会を設けた方がいいと思います。

4. まとめ

本アンケートは、2023年3月までに卒業した全卒業生を対象としている。卒業生からのフィードバックは教育の改善に重要である。回答では、多くの忌憚のないご意見とともに叱咤激励のコメントもいただいた。調査をまとめるに当たり、回答してくださった卒業生のご意思を反映させられるよう努めたい。

① 回答数

送付数 576 のうち 230 の回答が得られた。回収率 43.2%であり、卒業年別ではいずれの卒業年も 30%を超えていた。卒業1年目は半数以上が回答しているものの、卒業生の実態を把握するには、今後さらに回収率を高める方策を検討する必要がある。

② 卒業後のキャリア

卒業直後は、全体として9割が就職しており、進学する者も10%弱いた。一学年における東京医科大学病院（西新宿）への就職割合は、3割台～8割台まで、卒業年によりばらつきがある。卒業直後に就職した者について全体では69.4%が同じ勤務先にいたが、6年前に就職した2017年卒は、同じ所に就職しているのが4割弱であった。また、卒業直後に進学した者の多くは、その後助産師として勤務していた。

③ 教育の評価

6個の卒業時教育到達目標に関して、全体としては、「(1) 人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できる」、「(2) 『自立と自律』に価値を置き、科学的根拠に基づく看護判断と看護実践ができる」の達成度が高く、逆に「(6) 国際的な視野を持って、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献できる能力を養う」が最も達成度が低かった。

カリキュラムの満足度に関しては、「(5) 専門科目：生活環境と看護の対象（例）健康生活支援論、看護対象論Ⅰ・Ⅱ、看護初期実習」、「(6) 専門科目：看護援助の方法（例）治療看護技術論Ⅰ～Ⅲ看護展開実習Ⅰ～Ⅴ」に関して、全体での満足度（「非常に満足」「どちらかと言えば満足」の合計）が8割を越えた。逆に、「どちらかと言えば不満」「非常に不満」の合計が1割を超えたのは、「(2) 語学の授業」と「(8) 専門科目：グローバルヘルス（例）災害看護論、国際看護活動論」であった。

「在学中にもっと学んでおけば良かったこと」は、もっとも回答者の割合が高かったものは「外国語科目・外国語能力」であり、次が「看護の臨床技術」であった。

④ 母校の良かった点、改善すべき点、総合的評価

母校の良かった点に関しては、回答が多かった順に「施設」、「教員」、「部活やクラブ活動」であった。

改善すべき点に関しては、回答が多かった順に、「教員」、「部活動やクラブ活動」、「施設」、「職

員」だったが、改善すべき点は「特になし」と回答した人も全体の6割を超えた。

東京医科大学への総合的評価については、「(1)東京医科大学のカリキュラムに満足している」、「(2)東京医科大学の教育内容に、全体として満足している」、「(3)東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立っている」について、「非常にそう思う」「ある程度そう思う」を合計した割合が85%を超えた。一方で、「(4)東京医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたい」については、「非常にそう思う」「ある程度そう思う」を合計した割合が、65.8%にとどまった。

<資料>

1. 卒業生アンケート質問票

1. 卒業生アンケート質問票

Q1. あなたの卒業年を教えてください。

1. 2016年度(2017年3月卒業)
2. 2017年度(2018年3月卒業)
3. 2018年度(2019年3月卒業)
4. 2019年度(2020年3月卒業)
5. 2020年度(2021年3月卒業)
6. 2021年度(2022年3月卒業)
7. 2022年度(2023年3月卒業)

Q2. 性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性
3. 回答なし

Q3. 卒業直後の進路を教えてください。

1. 就職した
2. 進学した(具体的な進学先名:)
3. それ以外(具体的に:)

分岐 : Q3 = 1 と回答した人は Q4 へ、 Q3 = 2 もしくは 3 と回答した人は Q9 へ

<卒業直後に就職した方に伺います>

Q4. 卒業直後の就職先はどちらですか。

1. 東京医科大学病院(西新宿)
2. 茨城医療センター
3. 八王子医療センター
4. それ以外(具体的な勤務先名:)

Q5. 卒業直後の業務上の職種を教えてください。

1. 看護師
2. 保健師
3. 養護教諭
4. その他(具体的に:)

Q6. 卒業直後の雇用形態を教えてください。

1. 常勤
2. 非常勤
3. その他(具体的に)

Q7. 現在も同じ所に勤務していますか。

1. している
2. していない

分岐 : Q7 = 1 と回答した人は Q13 へ、 Q7 = 2 と回答した人は Q8 へ

Q8-1. 卒業直後の勤務先の勤続年数を教えてください。

1. 1 年未満
2. 1 年以上～3 年未満
3. 3 年以上～5 年未満
4. 5 年以上

Q8-2. 退職理由を教えてください。()

<現在の状況について伺います>

Q9. 現在の状況を教えてください。

1. 勤務をしている(具体的な勤務先名:)
2. 進学している(具体的な進学先名:)
3. その他(具体的に:)

分岐 : Q9 = 1 と回答した人は Q10 へ、 Q9 = 2 もしくは 3 と回答した人は Q13 へ

Q10. 現在の業務上の職種を教えてください。

1. 看護師
2. 保健師
3. 助産師
4. 養護教諭
5. その他(具体的に)

Q11. 現在の雇用形態を教えてください。

1. 常勤
2. 非常勤
3. その他(具体的に)

Q12. 現在の所属先の勤続年数を教えてください。

1. 1年未満
2. 1年以上～3年未満
3. 3年以上～5年未満
4. 5年以上

<ここから全ての方に伺います>

Q13. 卒業して社会に出たことで、“医療職として社会に貢献するという意識”は変化しましたか。

5. 大いに变化した
4. ある程度变化した
3. どちらでもない
2. あまり変化しなかった
1. 全く変化しなかった

Q14. 卒業してから今まで、社会貢献活動やボランティアなどの活動(災害支援、子どもの学習支援、学会や協会の委員/役員、地域奉仕活動など)に参加しましたか。具体的に教えてください。

<専門看護師(CNS)・認定看護師(CN)の資格取得について伺います>

Q15. 以下の資格を取得している人は、該当するものをお選びください。

- ・ 専門看護師(CNS)資格:
がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護、放射線看護
- ・ 認定看護師(CN)資格:
救急看護、皮膚・排泄ケア、集中ケア、緩和ケア、がん化学療法看護、がん性疼痛看護、訪問看護、感染管理、糖尿病看護、不妊症看護、新生児集中ケア、透析看護、手術看護、乳がん看護、摂食・嚥下障害看護、小児救急看護、認知症看護、脳卒中リハビリテーション看護、がん放射線療法看護、慢性呼吸器疾患看護、慢性心不全

＜東京医科大学医学部看護学科での教育について伺います＞

Q16. 以下は、「教育に関する卒業時到達目標」です。下記の内容について、現在、どの程度達成していますか。

- ① 人間の生命と尊厳を尊重し、高い倫理観に基づいた健全な援助的人間関係を形成できる
- ② 「自立と自律」に価値を置き、科学的根拠に基づく看護判断と看護実践ができる
- ③ 保健医療、看護、福祉サービスを統合的かつ継続的に提供するために必要なリーダーシップとマネジメントの能力を養う
- ④ 人々の生命や健康への脅威、生活の破たんに対して、幅広い視点から問題解決のための方策を考え、行動できる
- ⑤ 生涯にわたって看護専門職として自己研鑽する能力と、看護の価値や専門性を発展させ力を養う
- ⑥ 国際的な視野を持って、世界の人々の安全、健康と福祉に貢献できる能力を養う

4. かなり達成している
3. ある程度達成している
2. あまり達成していない
1. 全く達成していない

Q17. カリキュラムの満足度はいかがでしたか。

- ① 一般教育系科目の授業・実習（語学を除く）
- ② 語学の授業
- ③ 専門基礎科目：病気と治療、保健医療福祉の仕組み 例) 診断治療学、保健統計学
- ④ 専門科目：看護の基礎 例) 看護学概論、看護リテラシーⅠ・Ⅱ
- ⑤ 専門科目：生活環境と看護の対象 例) 健康生活支援論、看護対象論Ⅰ・Ⅱ、看護初期実習
- ⑥ 専門科目：看護援助の方法 例) 治療看護技術論Ⅰ～Ⅲ、看護展開実習Ⅰ～Ⅴ
- ⑦ 専門科目：看護提供の仕組み 例) 看護システムマネジメント論、看護システム実習
- ⑧ 専門科目：グローバルヘルス 例) 災害看護論、国際看護活動論
- ⑨ 専門科目：看護の統合 例) 看護課題ゼミ、統合実習、卒業研究
- ⑩ 専門科目：コミュニティヘルスケア 例) 地域看護学概論、地域看護学実習

5. 非常に満足
4. どちらかと言えば満足
3. どちらでもない
2. どちらかと言えば不満
1. 非常に不満

Q18. そのほか、カリキュラムや科目についてご意見があれば聞かせてください。

Q19. 在学中にもっと学んでおけば良かった、身につけておけば良かったことはどのようなことですか。

(複数回答)

1. 幅広い教養教育(文学・歴史など)
2. 外国語科目・外国語能力
3. 治療診断系や臨床医学の知識
4. 看護の専門的な知識
5. 看護の臨床技術
6. 論理的に考え、研究する力
7. その他(具体的に:)
8. 特になし

Q20. 現在、東京医科大学医学部看護学科を振り返って、良かったと思う点について教えてください。

該当する項目について、「良かったと思う点」の内容を、具体的にお書きください。

1. 施設(具体的に:)
2. 教員(具体的に:)
3. 職員(具体的に:)
4. 部活やクラブ活動(具体的に:)
5. その他(具体的に:)
6. 特になし

Q21. 現在、東京医科大学医学部看護学科を振り返って、改善すべきと思う点について教えてください。

該当する項目について、「改善すべきと思う点」の内容を、具体的にお書きください。

1. 施設(具体的に:)
2. 教員(具体的に:)
3. 職員(具体的に:)
4. 部活やクラブ活動(具体的に:)
5. その他(具体的に:)
6. 特になし

Q22. 現在、東京医科大学医学部看護学科を振り返って、総合的にどのように感じていますか。

- ① 東京医科大学のカリキュラムに満足している
- ② 東京医科大学の教育内容に、全体として満足している
- ③ 東京医科大学の教育は卒業後の仕事や生活に役立っている
- ④ 東京医科大学への受験を知人や将来の自分の子供に薦めたい

- 4. 非常にそう思う
- 3. ある程度そう思う
- 2. あまりそう思わない
- 1. 全くそう思わない

Q23. 東京医科大学の教育をより良くするためのご意見、または、東京医科大学へのご要望等を、自由にご記載ください。

本アンケート結果を公表した際にご連絡いたしますので、宜しければメールアドレスをお書きください。
(それ以外の目的には使用いたしません。)

どうもありがとうございました。

5. おわりに

東京医科大学卒業生アンケートは、卒業生の本学教育についての評価や卒業生の実績・キャリアを把握し、東京医科大学の教育プログラム改善を図るための資料とすることを目的に、看護学科卒業生約 576 名を対象として実施しました。貴重な時間を割いて、多くの質問に丁寧に回答いただいた卒業生の皆様に心より御礼申し上げます。

2015 年度に設立された東京医科大学教育 IR(Institutional Research)センターでは、「学修成果・教育成果を把握・検証する方針（アセスメント・ポリシー）」に基づいた情報収集・分析として、アンケートや様々な指標をもとに学修成果・教育成果を把握・可視化する活動を継続的に行っています。卒業生アンケートもその一つに位置付けられます。本報告書が本学の教育の質保証のための情報（エビデンス）として活用されることを期待しています。

本調査は多くの方々のご協力により実施することができました。この場を借りてお礼申し上げます。東京医科大学看護同窓会には卒業生への連絡先を提供いただきました。看護同窓会会長石塚睦子先生にお礼申し上げます。本報告書を纏めるにあたっては、教育 IR センター専門委員会の先生方に貴重な助言を頂きました。皆様に感謝申し上げます。

今後も教育 IR センターの活動にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東京医科大学 教育 IR センター
センター長 増渕 伸一

◆調査総括・結果検討

東京医科大学 教育 IR センター 専門委員会

委員長 増瀬 伸一 (教育 IR センター・物理学教室)

副委員長 井上 茂 (公衆衛生学分野)

副委員長 小林 信 (看護学科 精神看護学)

委員 天野 景裕 (臨床検査医学分野)

篠田 章 (生物学教室)

成瀬 和子 (看護学科 国際看護学)

瀬戸山 陽子 (教育 IR センター)

佐藤 三千誉 (教育 IR センター)

油川 ひとみ (教育 IR センター)

山本 佐知子 (教育 IR センター)

東京医科大学医学部医学科 卒業生アンケート 結果報告書

作成 東京医科大学 教育 IR センター

2024 年 8 月 発行

問い合わせ先

住所：東京都新宿区新宿 6-1-1

電話番号：03-3342-6111 内線：2072

メール：ir-cen@tokyo-med.ac.jp

